

intra-mart Accel Platform / Accelシリーズ

2023 Autumn アップデート情報



株式会社NTTデータ イントラマート

各要件説明ページの見方

◆◆◆に対応しました。

•○○○○○○○

-△△△

-□□□

本資料では、各要件のポイントとなる情報を要約して記載しています。詳細については、intra-mart要件情報公開サイトもしくは各製品ドキュメントをご確認ください。

intra-mart要件情報公開サイト: <https://issue.intra-mart.jp>
製品ドキュメントサイト: <https://document.intra-mart.jp>

対応内容の概要を解説した説明文、図、画像などを記載しています。

解説している対応内容のアップデートカテゴリ(「基盤」など)を表示しています。

今回のアップデートで提供された対応内容の分類を表示しています。
「アップデート」、「機能追加」、「機能強化」、「機能改善」、「情報公開」、「運用改善」など

※カテゴリ

※対応分類

要件情報公開サイトについて

intra-mart要件情報公開サイト（ <https://issue.intra-mart.jp/> ）

本資料では要件情報公開サイトに記載されている内容から主要なアップデート情報を記載しています。本資料に記載されていないアップデート情報や詳細を知りたい場合などに、要件情報公開サイトも合わせてご利用ください。

ホーム プロジェクト

intra-mart 要件情報公開サイト

検索: 28540

プロジェクトへ移動...

ホーム

intra-mart の各製品に関する対応要件および不具合を参照することができます。

- 下記のプロジェクト一覧、もしくは右上の **プロジェクトへ移動...** より、参照したいプロジェクト(製品)を選択してください。
- 選択したプロジェクトごとに記載されているバージョンもしくはパッチを選択して、要件(チケット)の一覧を確認可能です。
 - チケット画面の右側にある **カスタムクエリ** の一覧からも、バージョンおよびパッチによる絞り込みが可能です。
- またチケット画面では、上部にある **フィルタ** に任意の検索条件を指定することで、任意の条件でチケットの絞り込み検索が行えます。

脆弱性対策の公開要件について

脆弱性の対策を実施した要件を本サイトで公開しています。公開は、2018 Spring(Skylark)以降の要件が対象です。

脆弱性の確認方法

要件チケットに「脆弱性」の項目があり、「はい」が指定されている要件が該当します。「脆弱性」の項目は、要件を検索する条件に指定することができます。確認を行う場合は、各プロジェクトで条件を指定した上で検索を行ってください。

公開内容

- カテゴリ

日本語

カテゴリ

<https://issue.intra-mart.jp/projects/iap>
<https://issue.intra-mart.jp/projects/iac>
<https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm>

概要 ロードマップ チケット

2021 Winter (8.0.30)

2021/12/01

Dandelion

100%

52 チケット (52件完了 - 0件未完了)

関連するチケット

- 要件 #20856: 数値型カラムの null 値の表示に関する動作を改善します。...
- 要件 #22198: Boxと連携するモジュールを提供します。...
- 要件 #26429: スクリプト開発フレームワークで提供しているスクリプト開発用 API の定義方法を改善します。...
- 要件 #31312: IM-共通マスタ (IM-BloomMaker版) のマスタメンテナンス画面を提供いたします。...
- 要件 #32564: フローやユーザ定義、ルーティング定義の操作に関して IM-Propagation による伝搬を行うようになります。...
- 要件 #32689: ...
- 要件 #32756: 案件操作画面から、エラーとなった案件の「案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理」を削除できるようにします。...
- 要件 #32827: タスクの利用可否を設定できるようにします。...

要件情報公開サイト：2023 Autumn対応要件へのリンク①

製品・機能	対応要件一覧URL
intra-mart Accel Platform	https://issue.intra-mart.jp/projects/iap/issues?query id=913
Accel Studio	https://issue.intra-mart.jp/projects/accelstudio/issues?query id=914
IM-BloomMaker	https://issue.intra-mart.jp/projects/bloommaker/issues?query id=902
IM-FormaDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/forma/issues?query id=903
IM-BIS	https://issue.intra-mart.jp/projects/bis/issues?query id=901
IM-BPM	https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm/issues?query id=915
IM-Spreadsheet	https://issue.intra-mart.jp/projects/spreadsheet/issues?query id=909
e Builder	https://issue.intra-mart.jp/projects/ebuilder/issues?query id=900
intra-mart Accel Archiver	https://issue.intra-mart.jp/projects/iaa/issues?query id=910
intra-mart Accel Collaboration	https://issue.intra-mart.jp/projects/iac/issues?query id=911
intra-mart Accel Documents	https://issue.intra-mart.jp/projects/iad/issues?query id=912
intra-mart Accel Kaiden!	https://issue.intra-mart.jp/projects/iak/issues?query id=931

要件情報公開サイト：2023 Autumn対応要件へのリンク②

製品・機能	対応要件一覧URL
IM-PDFAutoConverter	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfconv/issues?query id=904
IM-PDFCoordinator	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfcrd/issues?query id=905
IM-PDFDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdes/issues?query id=906
IM-PDFDirectPrint	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdp/issues?query id=907
IM-PDFTimeStamper	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfds/issues?query id=908

目次

1. システム要件
2. Accel Platform(基盤機能)
3. Accel Studio
4. IM-BloomMaker
5. IM-Workflow
6. サービス連携
7. IM-BPM
8. intra-mart Accel Documents
9. 仕様変更

システム要件

詳細は最新バージョンのリリースノートをご確認ください。

intra-mart Accel Platform 2023 Autumn リリースノート

[https://document.intra-mart.jp/library/iap/public/iap release note/texts/support environment/index.html](https://document.intra-mart.jp/library/iap/public/iap%20release%20note/texts/support%20environment/index.html)

システム要件 – サーバ要件

サポート対象の削除

Windows Server 2012/2012 R2

2023年10月10日 延長サポート期限終了

Web Server

IIS8

IIS8.5

サポート対象の追加

Amazon Linux 2023 (※)

※ wkhtmltopdf (PDF出力モジュール)の利用は動作保証外となります

システム要件 – クライアント要件

サポート対象の追加

Google Chrome 116 / Microsoft Edge 116 (最新アップデート)

システム要件 – データベース(クラウドサービス)

サポート対象の追加

Oracle Base Database Service

Accel Platform(基盤機能)

- API キーによる Web API の認証機構を提供します
- ブラウザからのPDF出力に対応します
- エンティティ項目をマスタテーブルと連携可能にします
- フロー内でのみ有効なユーザ定義を設定可能にします
- フロー定義でエラー処理フローを定義できるようにします

API キーによる Web API の認証機構を提供します

ブラウザ使用を前提としない API キーを使った認証で、より簡単なシステム間連携を実現可能にします。

The screenshot shows a web interface for managing API keys. On the left is a navigation menu with the following items: OAuth 認証, アプリケーション管理者 (with sub-item アプリケーション管理), API キー管理者 (with sub-item API キー管理), and API キー (with sub-item API キー一覧). A red box highlights the 'API キー一覧' item, and a red arrow points from it to the main content area. The main content area is titled 'API キー一覧' and contains a table with one entry: 'メニューアクセスキー'. The entry details are: 'メニューへのアクセスを許可するAPIキーを発行します。' and '発行日時: 2023/10/03 13:52:15 有効期限: 2023/11/02 13:52:14'. To the right of the table is a blue button labeled 'API キー発行' and a red button labeled '削除'. A text box above the 'API キー発行' button says: 「APIキー発行画面」に遷移します。 A text box below the table says: 「APIキー詳細画面」に遷移します。発行したAPIキーの詳細を確認できます。

API キーによる Web API の認証機構を提供します

API キー発行画面

発行ボタンをクリックすると、発行されたAPIキーがダイアログ表示されます。有効日数、アクセス範囲、IPアドレス制限等を設定できます。

The image shows a screenshot of the 'API Key Issuance' (API キー発行) screen in a web application. The screen is divided into two main sections: a form for setting key details and a confirmation dialog.

API キー発行画面 (API Key Issuance Screen):

- 基本情報 (Basic Information):**
 - 表示名 (Display Name):** 標準 * (Standard). Below the input field, it says: ユーザロールの表示名が設定されていない場合、「標準」の表示名が表示されます (If the display name of the user role is not set, the display name 'Standard' will be displayed).
 - 説明 (Description):** 日本語 (Japanese).
 - 有効日数 * (Valid Period):** 30 日間 (30 days).
 - 画像 (Image):** ファイル追加... (Add file...), 中断 (Cancel), 削除 (Delete).

確認ダイアログ (Confirmation Dialog):

- 警告 (Warning):** 本画面以外で API キーを確認する方法はありません。発行した API キーは必ずコピーし、セキュリティで保護された場所に格納してください。 (There is no way to check the API key on any other screen. Please copy the issued API key and store it in a secure location.)
- API キー (API Key):** NmRjOTcwYWFIZjE5NDRIMjgwNGM0MTZhYmJmNmMwZmNAZGVmYXVsdA (The key is displayed in a text box with a copy icon on the right, highlighted by a red box).
- ボタン (Buttons):** 閉じる (Close).

API キーによる Web API の認証機構を提供します

API キーを利用した Web API へのアクセス

Authorization ヘッダにベアラートークンとして API キーを送信することで認証が行われます。

```
$ curl http://localhost:8080/imart/oauth/api/immaster/user/users/aoyagi -H "Authorization: Bearer <API Key>"
```

API キーによる Web API の認証機構を提供します

API キー管理画面

各ユーザの API キーの発行状況を確認できます。
また、発行された API キーの検索や削除ができます。

API キー管理

▼ 検索条件

ID	<input type="text"/>
ユーザコード	<input type="text"/>
ユーザ名	<input type="text"/>

検索 クリア

🗑️ 選択済みの API キーを削除

<input type="checkbox"/>	ID	ユーザコード	ユーザ名	表示名	発行日時	有効期限	詳細
<input type="checkbox"/>	8gyja5xzg5xmiq7	tenant	tenant	メニューアクセスキー	2023/10/03 13:52:15	2023/11/02 13:52:14	

ブラウザからのPDF出力に対応します

ViewCreatorの帳票出力、スケジュール(Accel Collaboration)のPDF出力について、wkhtmltopdf をインストールを行わずにPDF出力できるようになります。新規セットアップ、バージョンアップ時のPDF出力はブラウザからの出力が標準設定となります。wkhtmltopdf を継続使用したい場合は、設定ファイルで設定が可能です。

9/1/23 2:31 PM S:\sumesapp4
2000-Regions-Prefectures summary 1 - 47 / 47

Region	Prefecture	Area(Average)	Population(Sum)
四国	香川	1,862	1,022
近畿	大阪	1,894	8,789
関東	東京	2,102	12,017
九州	沖縄	2,274	1,309
関東	神奈川	2,416	8,475
九州	佐賀	2,440	876
中部	富山	2,802	1,121
中国	鳥取	3,507	613
近畿	奈良	3,691	1,440
関東	埼玉	3,787	6,925
近畿	和歌山	3,855	1,343
九州	長崎	4,095	1,516
四国	徳島	4,145	824
中部	石川	4,185	1,177
中部	福井	4,189	828
中部	山梨	4,201	889
近畿	京都	4,613	2,630
近畿	和歌山	4,726	1,069
九州	福岡	4,843	5,006
関東	千葉	4,996	5,916
中部	愛知	5,124	7,916
四国	愛媛	5,677	1,492
近畿	三重	5,761	1,857
九州	大分	5,805	1,219
関東	茨城	6,096	2,985
中国	山口	6,111	1,528
関東	群馬	6,363	2,020
関東	栃木	6,408	2,054
九州	宮崎	6,685	1,169
中国	島根	6,708	761
東北	宮城	6,862	2,365
九州	熊本	6,909	1,859
中国	岡山	7,009	1,950
四国	高知	7,105	813

Print 2 sheets of paper
Destination: Microsoft Print to PDF
Pages: All
Layout: Portrait
Color: Color
More settings: [v]
Print Cancel

9/1/23 2:38 PM Schedule of waterlab_test (Unfinished) 2023/9
Schedule/Personal (month)_年度リスト_20230901-43064

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	1 13:00 - 14:00 (F)	2 13:00 - 14:00 (F)	
3	4	5	6 11:00 - 12:00 (M)	7	8 13:00 - 14:00 (F)	9
10	11 13:00 - 14:00 (F)	12	13	14 13:00 - 14:00 (F)	15	16
17	18	19 13:00 - 14:00 (F)	20	21	22	23
24	25	26 13:00 - 14:00 (F)	27	28	29	30

Print 1 sheet of paper
Destination: Microsoft Print to PDF
Pages: All
Layout: Portrait
Color: Color
More settings: [v]
Print Cancel

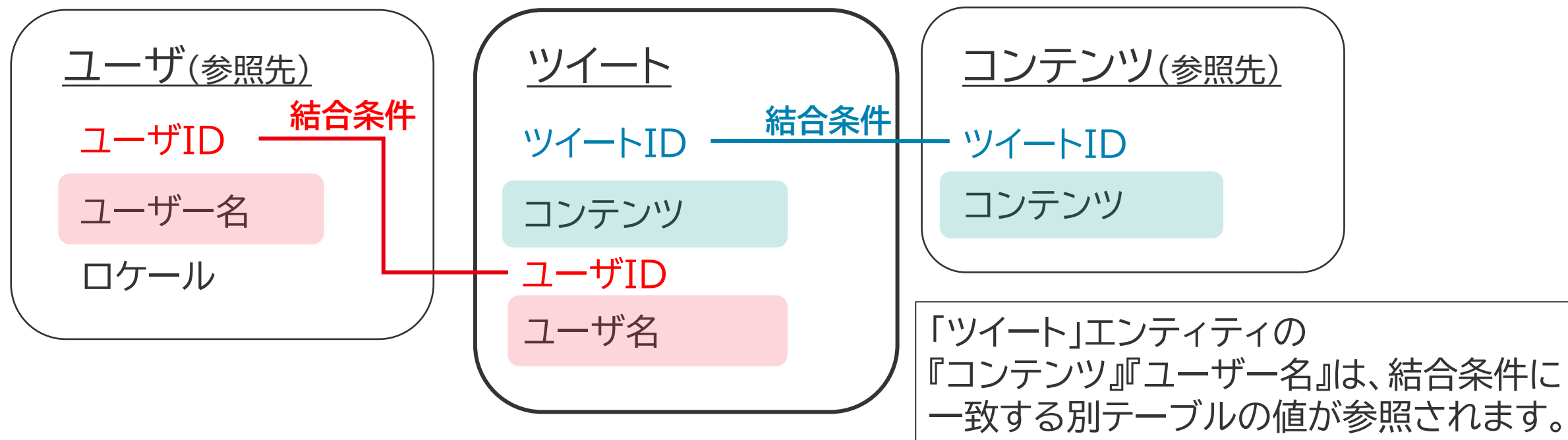
Accel Platform (基盤機能)

エンティティ項目をマスタテーブルと連携可能にします

IM-Repository エンティティ項目をマスタテーブルと連携する機能を提供します。

マスタテーブルと連携することで、関連する複数のテーブルをまたがってデータを取得することが可能になります。(SQLのJOINを利用した場合と同様のデータ取得を可能にします。)

利用イメージ



エンティティ項目をマスタテーブルと連携可能にします

エンティティの「データ定義」 - 「参照項目設定を追加」から参照設定を行うことができます。

データ定義

1 テーブル定義の設定 2 検索条件の設定 3 更新内容確認

i テーブルに紐づくカラムを設定します。

カラム設定

No.	適用	エンティティ項目	物理名	差分	データ型	最大桁数	小数桁数	主キー	必須
1		管轄組織コード	account_department_cd	差分なし	文字列	100	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2		カテゴリコード	category_cd	差分なし	文字列	100	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

参照項目設定

参照項目設定を追加

No.	参照先 種別	エンティティ / テーブル	エンティティ項目 / カラム名	エンティティ項目	設定	削除
1	テーブル	imm_department	department_name	管轄組織名		

キャンセル 次へ

エンティティ項目をマスタテーブルと連携可能にします

エンティティの「データ定義」 - 「参照項目設定を追加」から参照設定を行うことができます。

データ定義

1
テーブル定義の設定

テーブルに紐づくカラムを設定します。

カラム設定

No.	適用	エンティティ項目	物理名	差
1		管轄組織コード	account_department_cd	差
2		カテゴリコード	category_cd	差

参照項目設定

参照項目設定を追加

エンティティ項目参照設定

参照設定を行います。 エンティティ、テーブルをいずれかを選択

参照先を選択 *

エンティティを選択する
他のエンティティを参照先とする場合

テーブルを選択する
同じデータベース内のテーブルを選択する場合

参照先テーブル名 *

参照先として指定可能なテーブルは同じデータベース内に存在するテーブルです。
imm_user

参照項目 *

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名	削除
1	カラム2	user_name	⊗

結合条件 *②

結合条件を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名	抽出方法	削除
1	カラム1	user_cd	一致	⊗

絞り込み条件 ②

絞り込み条件を追加

Accel Platform (基盤機能)

フロー内でのみ有効なユーザ定義を設定可能にします

IM-LogicDesigner フロー内でのみ有効なユーザ定義を設定可能にします。
ユーザ定義を作成したフロー内でのみ有効となり、ユーザ定義一覧に表示されません。

The screenshot displays the 'ロジックフロー定義編集' (Logic Flow Definition Edit) window. The central workspace shows a flow diagram with three tasks: '開始' (Start), 'test_debug 検証用' (test_debug for verification), and '終了' (End). The 'test_debug' task is highlighted with a dashed orange border. The right-hand panel shows the task configuration, with a red box highlighting a message: 'このフロー定義内でのみ利用できるユーザ定義です。' (User definition available only within this flow definition). The panel also includes sections for 'タスク種別' (Task Type), '基本設定' (Basic Settings), and 'タスク固有設定' (Task-Specific Settings).

フロー内でのみ有効なユーザ定義を設定可能にします

□ジックフロー定義編集画面から作成したユーザ定義が対象になります。

JavaScript定義編集

ユーザ定義共通設定

利用範囲 フロー定義内のみで利用する
有効にした場合は、他のフロー定義で利用できずユーザ定義一覧には表示されません。

ユーザ定義ID *

バージョン番号 * 1

ユーザ定義名 *

標準 *	<input type="text"/>
日本語	<input type="text"/>
英語	<input type="text"/>
中国語 (中華人民共和国)	<input type="text"/>

JavaScript定義新規作成 REST定義新規作成 SQL定義新規作成 Database Fetch定義新規作成

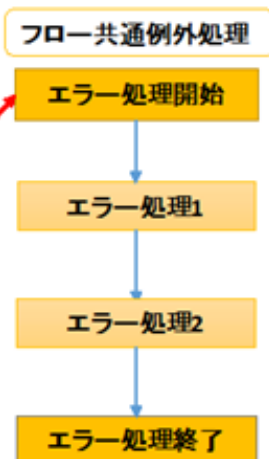
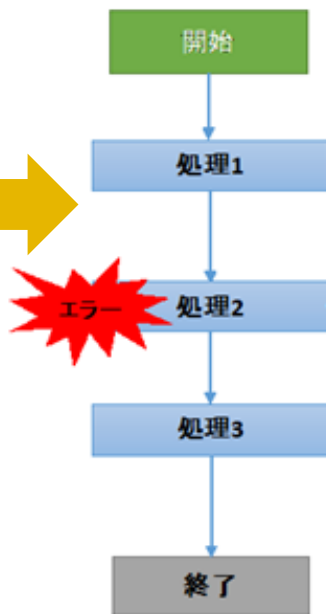
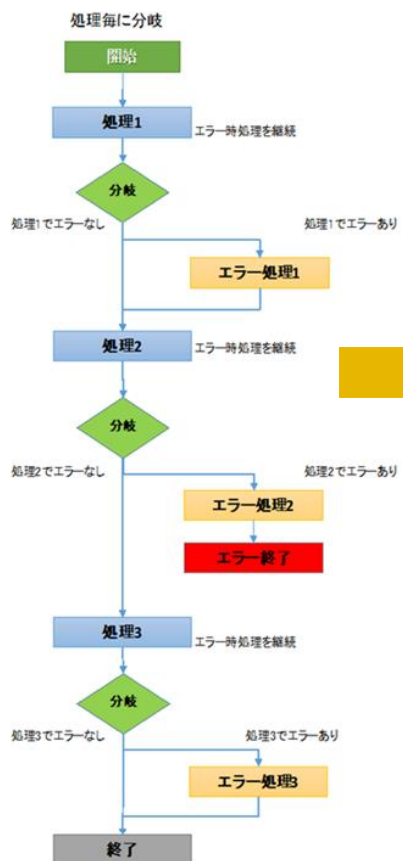
CSV Fetch定義新規作成 テンプレート定義新規作成 Excel入力定義新規作成 Excel出力定義新規作成

BIS申請/承認定義新規作成 Forma登録情報定義新規作成

Accel Platform (基盤機能)

フロー定義でエラー処理フローを定義できるようにします

IM-LogicDesigner タスクの実行時にエラーが発生した際の処理を設定するタスクを提供します。



- フローの実行時にエラーが発生した場合に共通のエラー処理を実施できるタスクを追加します。
- タスクごとにエラー判定の分岐処理を配置する必要がなくなり、わかりやすい処理フローの作成が可能になります。また、1つのフローに配置するタスクを削減できます。

その他

その他、以下の要件を2023 Autumnで対応しました。

- **IM-LogicDesigner 処理結果情報にエラーに関する詳細情報を追加します。**
 - 処理結果情報にエラー時のStackTrace情報やレポート情報を追加しました。
 - これらを確認・通知することでエラー内容をより詳細に確認できるようになります。
- **IM-LogicDesigner フロー定義編集画面 フローエレメントの配置領域を広げます。**
 - フローエレメントの配置領域を1.5倍に広げました。
 - これにより1つのフロー定義により多くのエレメント(タスク)を配置できるようになります。
- **IM-LogicDesigner SSHタスク 公開鍵認証方式で扱える秘密鍵の形式を追加します。**
 - 今まで利用できなかった秘密鍵の形式を利用したSSHタスクの処理が行えるようになります。

Accel Studio

- インポート時にアプリケーションの差分を表示する機能を提供します
- アプリケーションのアーカイブを作成し、任意のアーカイブから復元可能にします
- アプリケーションのリソース関連図を表示します
- Accel Studioアプリケーションのリクエストログ、およびシステムログをオンラインで確認可能にします
- アプリケーションのテンプレートを作成可能にします

インポート時にアプリケーションの差分を表示する機能を提供します

インポート時にアプリケーションの差分を表示する機能を提供します。

ユーザーは、インポートを実行する前に現在の環境に入っているアプリケーションに対する影響範囲を確認することができます。

同一リソース内で差分がある場合
「差分表示アイコン」が表示されます

機能カテゴリ	定義カテゴリ	リソース名	説明	アプリケーション構成の影響	リソースの影響
画面	画面コンテンツ	備品管理 検索画面		関連追加	更新
画面	画面コンテンツ	備品管理 登録・編集・参照画面	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたコンテンツです。	なし	更新 
画面	画面コンテンツ	備品管理 一覧画面	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたコンテンツです。	なし	更新
ロジック	ロジックフロー	備品管理 削除処理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたフロー定義です。	なし	更新
ロジック	ロジックフロー	備品管理 編集処理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたフロー定義です。	なし	更新 
ロジック	ロジックフロー	備品管理 参照処理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたフロー定義です。	なし	更新 
ロジック	ロジックフロー	備品管理 登録処理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたフロー定義です。	なし	更新 
データ定義	エンティティ	備品管理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたエンティティです。	なし	更新 
データ定義	エンティティ	備品管理_電子納品	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたエンティティです。	なし	更新

IM-LogicDesigner - 差分表示

編集中のフローと編集前の内容を比較する

ロジックフロー差分比較

比較元フロー定義 チュートリアルフロー

バージョン 2

フロー定義情報 ⚠ 入力定義 出力定義 変数定義 定数定義 基本情報

比較元: tutorial_flow (チュートリアルフロー) 更新日: 2023/09/21 14:00 比較先: tutorial_flow (チュートリアルフロー)

以下を差分として確認可能になります。

- ・フロー定義情報
- ・入出力定義
- ・変数定義
- ・定数定義
- ・基本情報

開始

im_logger1
ログ出力

im_sendTextMail1
テキストメール送信

im_sendTextMail1
テキストメール送信

タスク種別	ラベル	タスクID	変更内容	詳細
...	...	im_sendTextMail1	前後に配置されているタスクが変更されました	詳細を表示

IM-LogicDesigner - 差分表示

編集中のフローと編集前の内容を比較する

The screenshot displays the IM-LogicDesigner interface. The main window shows a logic flow diagram with the following steps:

- 開始 (Start)
- im_repositoryGetEntityData1 (equipment_managementの取得)
- im_repositoryGetEntityData1 != null (Decision)
- then: エラー終了 (Error End)
- else: im_repositoryEntityDataValidation1 (equipment_managementの検証) → im_repositoryEntityDataInsert1 (equipment_managementの登録)

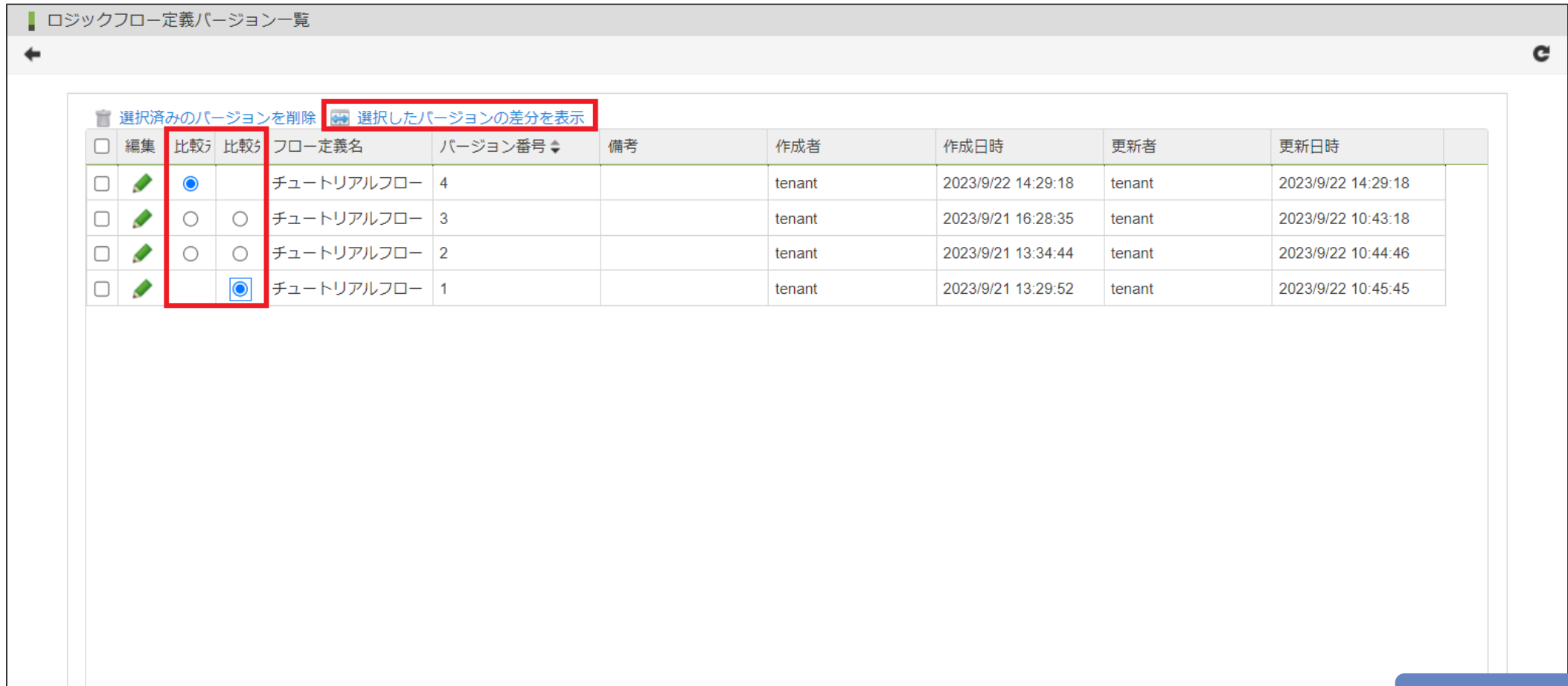
A comparison window is open, titled "ロジックフロー 差分比較". It compares the current flow with a previous version. The comparison window shows the same flow diagram but with changes highlighted in red. A red arrow points from the "差分比較" button in the main window to the comparison window. The comparison window also has a search bar and a "バージョン" dropdown set to "1".

タスク種別	ラベル	タスクID	変更内容	詳細
±	分岐	im_repositoryGetEntityData1 != null	前後に配置されているタスクが変更されました。	詳細を表示
-	エラー終了	エラー終了	「エラー終了」タスクが削除されました。	
+	終了	終了	「終了」タスクが追加されました。	

IM-LogicDesigner - 差分表示

バージョン間のフロー差分比較

バージョン一覧から比較元・比較先を選択して差分表示することができます。



ロジックフロー定義バージョン一覧

選択済みのバージョンを削除 選択したバージョンの差分を表示

<input type="checkbox"/>	編集	比較元	比較先	フロー定義名	バージョン番号	備考	作成者	作成日時	更新者	更新日時
<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	チュートリアルフロー	4		tenant	2023/9/22 14:29:18	tenant	2023/9/22 14:29:18
<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	チュートリアルフロー	3		tenant	2023/9/21 16:28:35	tenant	2023/9/22 10:43:18
<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	チュートリアルフロー	2		tenant	2023/9/21 13:34:44	tenant	2023/9/22 10:44:46
<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	チュートリアルフロー	1		tenant	2023/9/21 13:29:52	tenant	2023/9/22 10:45:45

IM-Repository - 差分表示

IM-Repository のエンティティおよび辞書項目の変更履歴ごとの差分を表示する機能を提供します。



履歴一覧

←

差分を表示する

	保存日付	コメント	保存ユーザ	詳細
<input type="radio"/>	2023/09/26 14:24	aaa	tenant	
<input type="radio"/>	2023/09/12 18:01	Accel Studio Application import. Application ID [test]	tenant	
<input type="radio"/>	2023/09/07 15:32	aaaa	tenant	
<input type="radio"/>	2023/09/07 13:38	vww	tenant	
<input type="radio"/>	2023/09/07 13:37	vww	tenant	
<input type="radio"/>	2023/09/05 17:16	vww	tenant	
<input type="radio"/>	2023/09/05 17:10	vww	tenant	
<input type="radio"/>	2023/09/01 14:08	vww	tenant	
<input type="radio"/>	2023/09/01 14:06	vww	tenant	
<input type="radio"/>	2023/08/30 13:41	aaaa	tenant	
<input type="radio"/>	2023/08/30 11:12	vww	tenant	
<input type="radio"/>	2023/08/29 14:57	vww	tenant	
<input type="radio"/>	2023/08/28 14:40	test entity	tenant	

差分を比較したい履歴にチェックし、「差分を表示する」をクリックすると差分表示画面に遷移します。

IM-Repository - 差分表示

IM-Repository のエンティティおよび辞書項目の変更履歴ごとの差分を表示する機能を提供します。

差分表示

変更点一覧

変更前 2023/10/09 10:35

変更後 2023/10/10 14:26

初期値

辞書項目の有効化 有効

初期値

辞書項目の有効化 有効

データ

言語	データ型	変数名
Java	String	account_department_cd
JavaScript	String	account_department_cd
IM-LogicDesigner	string	account_department_cd
Database	文字列	最大桁数: 100

データ

言語	データ型	変数名
Java	String	account_department_cd
JavaScript	String	account_department_cd
IM-LogicDesigner	string	account_department_cd
Database	文字列	最大桁数: 250

Database

項目	値
最大桁数	100
小数桁数	
物理名	account_department_cd
論理名	標準 管轄組織コード +
コメント	標準 +

Database

項目	値
最大桁数	250
小数桁数	
物理名	account_department_cd
論理名	標準 管轄組織コード +
コメント	標準 +

IM-Workflow - 差分表示

IM-Workflow のフロー定義の差分を表示する機能を提供します。

同一フロー定義のバージョン間の差分を比較する

異なるフロー定義との差分を比較する

差分比較 ⚠️ 差分があります。

比較元	比較先
このフロー	このフロー
2023/10/02 - 2999/12/31 <input type="button" value="有効"/>	2022/01/01 - 2023/10/01 <input type="button" value="有効"/> <input type="button" value="設定中"/>

⚠️ ⚠️ ⚠️

差分のある項目のみ表示

比較元	比較先
− ▼ 期間設定	+ ▼ 期間設定 <input type="button" value="詳細を表示"/>
− 開始/終了	+ 開始/終了

IM-Workflow - 差分表示

ワークフロー管理 - 名刺発注申請

設定対象期間 2022/01/01 ~ 2023/10/01 基本設定

保存 差分比較 ルート編集

start

名刺発注申請

差分比較 ⚠ 差分があります。

比較元 指定のフロー

比較先 シンプルなワークフローテンプレート
8gytcal7ose5wq7-flow

フロー選択

2023/10/10 - 2999/12/31 有効

2022/01/01 - 2023/10/01 有効 設定中

フロー設定 ⚠ ノード設定 ⚠ ルート設定 ⚠ 期間情報 ⚠ 基本設定 ⚠

検索

差分のある項目のみ表示

比較元	比較先
▼ 期間設定	+ ▼ 期間設定 詳細を表示
- 開始/終了	+ 開始/終了
▼ 画面	+ ▼ 画面 詳細を表示
- 処理詳細	+ 処理詳細
- 確認詳細	+ 確認詳細
- 参照詳細	+ 参照詳細
- 過去案件詳細	+ 過去案件詳細
▼ 処理	+ ▼ 処理 詳細を表示
- 未完了案件削除処理	+ 未完了案件削除処理
- 完了案件削除処理	+ 完了案件削除処理

閉じる

URL

URL

URL

URL

エラー 0 要確認 0

ノード 検索

ノード

start

申請ノード
名刺発注申請
apply

承認ノード
承認
approve

終了ノード
end
end

設定あり

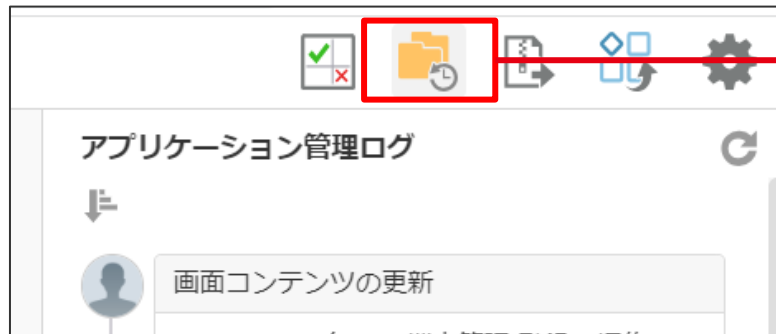
設定あり

比較元を「指定のフロー」に設定することで、
選択した別フローとの差分を表示することができます。

アプリケーションのアーカイブ機能

アプリケーションのアーカイブを作成し、任意のアーカイブから復元可能にします。

任意のアーカイブを選択して「復元」することで、アーカイブ作成時点の資材に復元することができます。



アプリケーション管理
PC端末管理 - アーカイブ一覧

アーカイブ件数: 2件 アーカイブを作成

作成日	作成者	備考	復元する	削除
2023/10/12 0:00:00	tenant	単体テスト前にアーカイブ作成	← 復元する	🗑️
2023/10/05 17:52:27	tenant	製造完了したためアーカイブ作成	← 復元する	🗑️

アプリケーションのアーカイブ機能

アーカイブ適用時にもインポートと同様にリソースの差分を確認できます。

← アプリケーション管理
アーカイブからの復元

⚠ 復元の操作は、元に戻すことができません。
アーカイブから復元を行うと、アプリケーションの更新が行われます。この操作は元に戻すことができません。
必要に応じて、最新のアーカイブを作成してから実施してください。

アーカイブ作成日時	2023/10/12 0:00:00
作成者	tenant
備考	単体テスト前にアーカイブ作成

アプリケーション

アプリケーションID	pc_management
アプリケーション名	PC端末管理
説明	

各リソースの差分を確認可能

アプリケーションリソース情報

機能カテゴリ	定義カテゴリ	リソース名	説明	アプリケーション構成の影響	リソースの影響
画面	画面コンテンツ	PC端末管理 登録・編集・参照画面	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたコンテンツです。	なし	更新
画面	画面コンテンツ	PC端末管理 一覧画面	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたコンテンツです。	なし	更新
ロジック	ロジックフロー	PC端末管理 削除処理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたフロー定義です。	なし	更新
ロジック	ロジックフロー	PC端末管理 編集処理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたフロー定義です。	なし	更新
ロジック	ロジックフロー	PC端末管理 一覧取得処理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたフロー定義です。	なし	更新
ロジック	ロジックフロー	PC端末管理 参照処理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたフロー定義です。	なし	更新
ロジック	ロジックフロー	PC端末管理 登録処理	業務テンプレート「マスタメンテナンス」で作成されたフロー定義です。	なし	更新
ロジック	ロジックフロー	PC端末管理 採番取得処理		関連追加	更新

アプリケーションのリソース関連図を表示します

リソース同士の関連から、アプリケーションの構成を俯瞰で確認できます。

The image displays two screenshots of the Accel Studio 'Application Management' interface, specifically the 'User Maintenance - Diagram Related to Resource' view.

The top screenshot shows a diagram with the following components and relationships:

- Screen URL:** User Maintenance Edit Screen, User Maintenance List Screen, User Maintenance Reference Screen.
- Screen Content:** User Maintenance Registration/Edit/Reference Screen, User Maintenance List Screen.
- URL of API:** DELETE accel-studio-app/user_maintenance, GET accel-studio-app/user_maintenance, POST accel-studio-app/user_maintenance/list.
- Logic Flow:** User Maintenance deletion, User Maintenance edit prod, User Maintenance list acqu.

The bottom screenshot shows a zoomed-in view of the 'User Maintenance Registration/Edit/Reference Screen' (ver.1) with the following details:

- Application:** User Maintenance
- Screen Content:** User Maintenance Registration/Edit/Reference Screen (ver.1)
- URL of API:** POST accel-studio-app/user_maintenance, GET accel-studio-app/user_maintenance, DELETE accel-studio-app/user_maintenance, PUT accel-studio-app/user_maintenance.

On the right side of the bottom screenshot, a sidebar displays the details for the selected screen content:

- Screen Content:** User Maintenance Registration/Edit/Reference Screen
- Version:** 1
- Remarks:** This content is created with the "Master Maintenance" business template.

Accel Studioアプリケーションのリクエストログを オンラインで確認可能にします

Accel Studioアプリケーションに関するリクエストログをオンラインで確認できるようにします。
IM-BloomMaker とIM-LogicDesigner に関するルーティング定義が呼び出された際の
リクエストログをオンラインで確認可能にします。

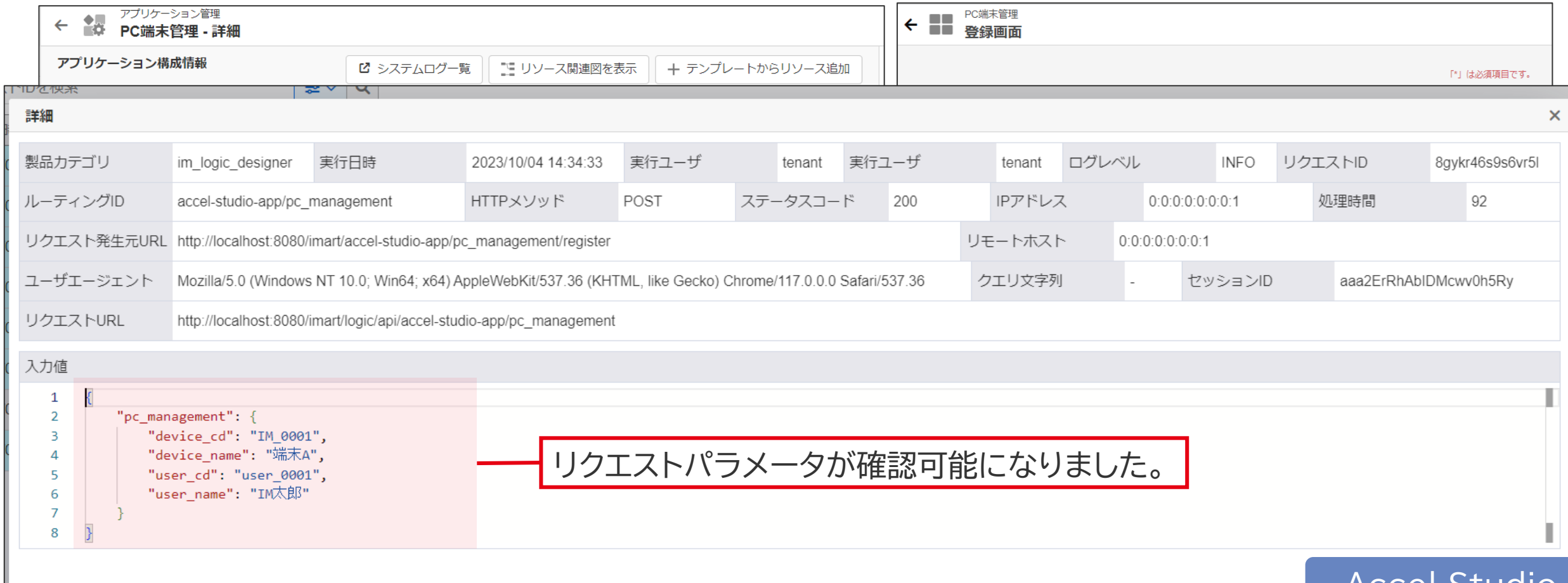
The screenshot shows the 'アプリケーション管理' (Application Management) interface, specifically the 'PC端末管理 - 詳細' (PC Terminal Management - Details) page. The 'アプリケーション構成情報' (Application Configuration Information) section is active, displaying a grid of routing definitions. A red box highlights the entry for the API endpoint 'POST accel-studio-app/pc_management', which is associated with the 'APIのURL' (API URL) and 'リクエストログ' (Request Log) icon. Other visible entries include '公開URL' (Public URL) for '登録画面' (Registration Screen) and '参照画面' (Reference Screen), and '画面URL' (Screen URL) for '一覧画面' (List Screen) and '編集画面' (Edit Screen). The interface also includes buttons for 'システムログ一覧' (System Log List), 'リソース関連図を表示' (Show Resource Relationship Diagram), and 'テンプレートからリソース追加' (Add Resource from Template).

The screenshot shows the '登録画面' (Registration Screen) for 'PC端末管理' (PC Terminal Management). The form contains fields for '端末コード*' (Terminal Code), '端末名' (Terminal Name), '使用者コード' (User Code), and '使用者名' (User Name). A red callout box points to the '登録' (Register) button, containing the text: '登録ボタンを押下した際にLogicDesignerのREST APIが呼び出される【ルーティング】 accel-studio-app/pc_management'. A red line connects this callout to the highlighted API endpoint in the adjacent screenshot.

Accel Studioアプリケーションのリクエストログを オンラインで確認可能にします

Accel Studioアプリケーションに関するリクエストログをオンラインで確認できるようにします。

IM-BloomMaker とIM-LogicDesigner に関するルーティング定義が呼び出された際のリクエストログをオンラインで確認可能にします。



The screenshot displays the 'PC端末管理 - 詳細' (PC Terminal Management - Details) page in Accel Studio. The interface includes a navigation bar with 'アプリケーション管理' (Application Management) and 'PC端末管理 - 詳細' (PC Terminal Management - Details). Below the navigation bar, there are buttons for 'アプリケーション構成情報' (Application Configuration Information), 'システムログ一覧' (System Log List), 'リソース関連図を表示' (Display Resource Relationship Diagram), and '+ テンプレートからリソース追加' (Add Resource from Template). The main content area shows a detailed view of a request log entry. The log entry includes fields for '製品カテゴリ' (Product Category), 'ルーティングID' (Routing ID), 'リクエスト発生元URL' (Request Source URL), 'ユーザエージェント' (User Agent), and 'リクエストURL' (Request URL). The '入力値' (Input Value) section shows a JSON object representing the request parameters.

製品カテゴリ	im_logic_designer	実行日時	2023/10/04 14:34:33	実行ユーザ	tenant	実行ユーザ	tenant	ログレベル	INFO	リクエストID	8gykr46s9s6vr5l
ルーティングID	accel-studio-app/pc_management	HTTPメソッド	POST	ステータスコード	200	IPアドレス	0:0:0:0:0:0:1	処理時間	92		
リクエスト発生元URL	http://localhost:8080/imart/accel-studio-app/pc_management/register						リモートホスト	0:0:0:0:0:0:1			
ユーザエージェント	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; Win64; x64) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/117.0.0.0 Safari/537.36						クエリ文字列	-	セッションID	aaa2ErRhAbIDMcvw0h5Ry	
リクエストURL	http://localhost:8080/imart/logic/api/accel-studio-app/pc_management										

```
1 {  
2   "pc_management": {  
3     "device_cd": "IM_0001",  
4     "device_name": "端末A",  
5     "user_cd": "user_0001",  
6     "user_name": "IM太郎"  
7   }  
8 }
```

リクエストパラメータが確認可能になりました。

Accel Studioアプリケーションのリクエストログを オンラインで確認可能にします

ログは、画面上から以下条件で検索し、絞り込むことが可能です。

Accel Studio
リクエストログ情報参照

リクエストIDを検索

実行日時	リクエストID	アプリケーションID	クエリ文字列	HTTPメソッド	リクエスト発生元URL
2023/10/04 16:20:13	8gykuw3dds7485I	pc_management		GET	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 16:20:13	8gykuw3dis7495I	pc_management		GET	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 16:20:09	8gykuw05ls7475I			POST	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 16:20:09	8gykuvzk4s7405I			GET	-
2023/10/04 14:41:19	8gykrwi7s6xu5I			POST	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 14:41:19	8gykrw6bs6xo5I			GET	-
2023/10/04 14:34:59	8gykr4r0cs6wi5I			POST	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 14:34:59	8gykr4qw1s6we5I			GET	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 14:34:58	8gykr4qv2s6wd5I			POST	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 14:34:41	8gykr4dijss6w95I			GET	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 14:34:41	8gykr4di8s6w85I			GET	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 14:34:38	8gykr4b5us6w75I			POST	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 14:34:38	8gykr4b0ys6w35I			GET	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 14:34:34	8gykr4821s6vz5I			GET	http://localhost:8080/imart/accel-stu
2023/10/04 14:34:34	8gykr481ss6vy5I			GET	http://localhost:8080/imart/accel-stu

検索条件:

- アプリケーションID: pc_management
- 製品カテゴリ: [選択]
- 実行日時: [年/月/日] ~ [年/月/日]
- 実行ユーザ: [検索]
- リクエストID: [検索]
- HTTPメソッド: GET POST PUT DELETE OPTIONS

検索ボタン: 検索

ページ: 1 / 22件中 1 - 22 を表示

Accel Studioアプリケーションの システムログをオンラインで確認可能にします

Accel Studioアプリケーションに関するシステムログをオンラインで確認できるようにします。

■ システムログの出力対象

IM-LogicDesigner

- ログ出力タスクで出力されたログ
- エラーが発生した際のログ

IM-Workflow

- 非同期処理のエラーログ

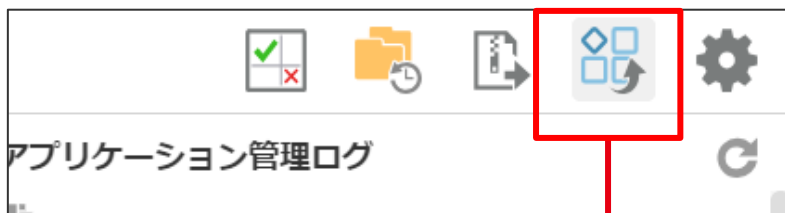
The screenshot displays the 'Reference System Log Information' window in Accel Studio. It shows a search bar and a table of log entries. The selected entry is for a task execution that failed. The log message is: 'タスク (im_asGetAutoNumbering2) 実行中にエラーが発生しました。' (Task (im_asGetAutoNumbering2) error occurred during execution). The log message key is 'E.IWP.LOGIC.FLOW.00237'. Below the log message, a stack trace is visible, starting with 'jp.co.intra_mart.foundation.logic.exception.FlowExecutionException: [E.IWP.LOGIC.FLOW.00237] タスク (im_asGetAutoNumbering2) 実行中にエラー'.

Date	Details
7/9/2023	Product Category: im_logic_designer, Date And Time of Execution: 7/9/2023 5:42:32 PM, Executing User: aoyagi, Executing User: aoyagi tatsumi
7/9/2023	Log Level: ERROR, Request ID: 8gxicvbv5ene7a5, Task ID: im_asGetAutoNumbering2, Flow ID: test_wf-wf-action
7/9/2023	Log Message: タスク (im_asGetAutoNumbering2) 実行中にエラーが発生しました。, Log Message Key: E.IWP.LOGIC.FLOW.00237
7/9/2023	Stack Trace: 1 jp.co.intra_mart.foundation.logic.exception.FlowExecutionException: [E.IWP.LOGIC.FLOW.00237] タスク (im_asGetAutoNumbering2) 実行中にエラー 2 at jp.co.intra_mart.system.logic.impl.StandardLogicSession.executeElement(StandardLogicSession.java:337) 3 at jp.co.intra_mart.system.logic.impl.StandardLogicSession.execute(StandardLogicSession.java:195) 4 at jp.co.intra_mart.system.workflow.plugin.process.action.ActionProcessLogicFlowExecutorEvent.execute(ActionProcessLogicFlowExecutorEvent.java:195) 5 at jp.co.intra_mart.system.workflow.listener.context.WorkflowActionProcessEventListenerContext.execute(WorkflowActionProcessEventListenerContext.java:236) 6 at jp.co.intra_mart.system.workflow.engine.core.event.ExtensionEventExecutor.executeActionEvent(ExtensionEventExecutor.java:236) 7 at jp.co.intra_mart.system.workflow.engine.action.AbstractActionEventBase.executeActionEvent(AbstractActionEventBase.java:589) 8 at jp.co.intra_mart.system.workflow.engine.action.ActionEventApply.applyFormApplywait(ActionEventApply.java:221) 9 at jp.co.intra_mart.system.workflow.engine.action.ActionEventApply.execute(ActionEventApply.java:146) 10 at jp.co.intra_mart.system.workflow.engine.action.AbstractActionEventBase.fire(AbstractActionEventBase.java:293) 11 at jp.co.intra_mart.system.workflow.internal.manager.action.ActionManager.apply(ActionManager.java:127) 12 at jp.co.intra_mart.foundation.workflow.application.process.ApplyManager.apply(ApplyManager.java:423) 13 at jp.co.intra_mart.system.workflow.javascript.application.process.ApplyManagerObject.jsFunction_apply(ApplyManagerObject.java:282) 14 at jdk.internal.reflect.GeneratedMethodAccessor1034.invoke(Unknown Source) 15 at java.base/jdk.internal.reflect.DelegatingMethodAccessorImpl.invoke(DelegatingMethodAccessorImpl.java:43) 16 at java.base/java.lang.reflect.Method.invoke(Method.java:566) 17 at jp.co.intra_mart.system.javascript.MemberBox.invoke(MemberBox.java:126) 18 at jp.co.intra_mart.system.javascript.FunctionObject.call(FunctionObject.java:442) 19 at jp.co.intra_mart.system.javascript.Interpreter.interpretLoop(Interpreter.java:1473) 20 at jp.co.intra_mart.system.javascript.Interpreter.interpret(Interpreter.java:815) 21 at jp.co.intra_mart.system.javascript.InterpretedFunction.call(InterpretedFunction.java:109) 22 at jp.co.intra_mart.system.javascript.ContextFactory.doTopCall(ContextFactory.java:394) 23 at jp.co.intra_mart.system.javascript.ScriptRuntime.doTopCall(ScriptRuntime.java:3101) 24 at jp.co.intra_mart.system.javascript.InterpretedFunction.call(InterpretedFunction.java:107) 25 at jp.co.intra_mart.system.display.ScriptScope.call(ScriptScope.java:156) 26 at jp.co.intra_mart.system.session.web.WebPageBuilder.invoke(WebPageBuilder.java:252)

アプリケーションのテンプレート化機能

作成済のアプリケーションを元にユーザーがテンプレートを自作可能にします。

元となるアプリケーション



テンプレート作成画面で
テンプレートを作成する

自作テンプレート



ユーザが作成したテンプレート

ユーザがAccel Studioアプリケーションを元に作成したテンプレートです。

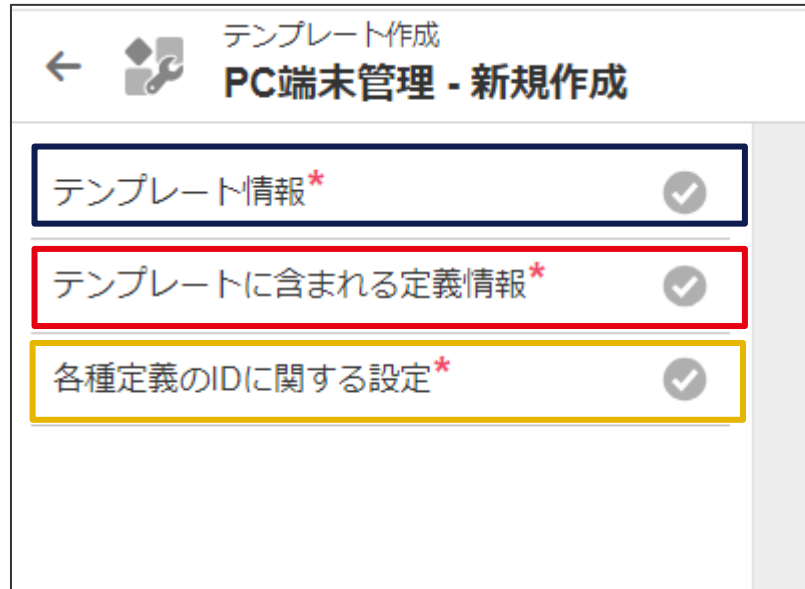



「次へ」ボタンを押下すると、
アプリケーション作成画面に遷移します。

Accel Studio

アプリケーションのテンプレート化機能

テンプレート作成画面では以下の情報を指定してテンプレートを作成します。



←  テンプレート作成
PC端末管理 - 新規作成

- テンプレート情報*
- テンプレートに含まれる定義情報*
- 各種定義のIDに関する設定*

テンプレート情報

- テンプレート名やIDなどの基本情報を入力します。

テンプレートに含まれる定義情報

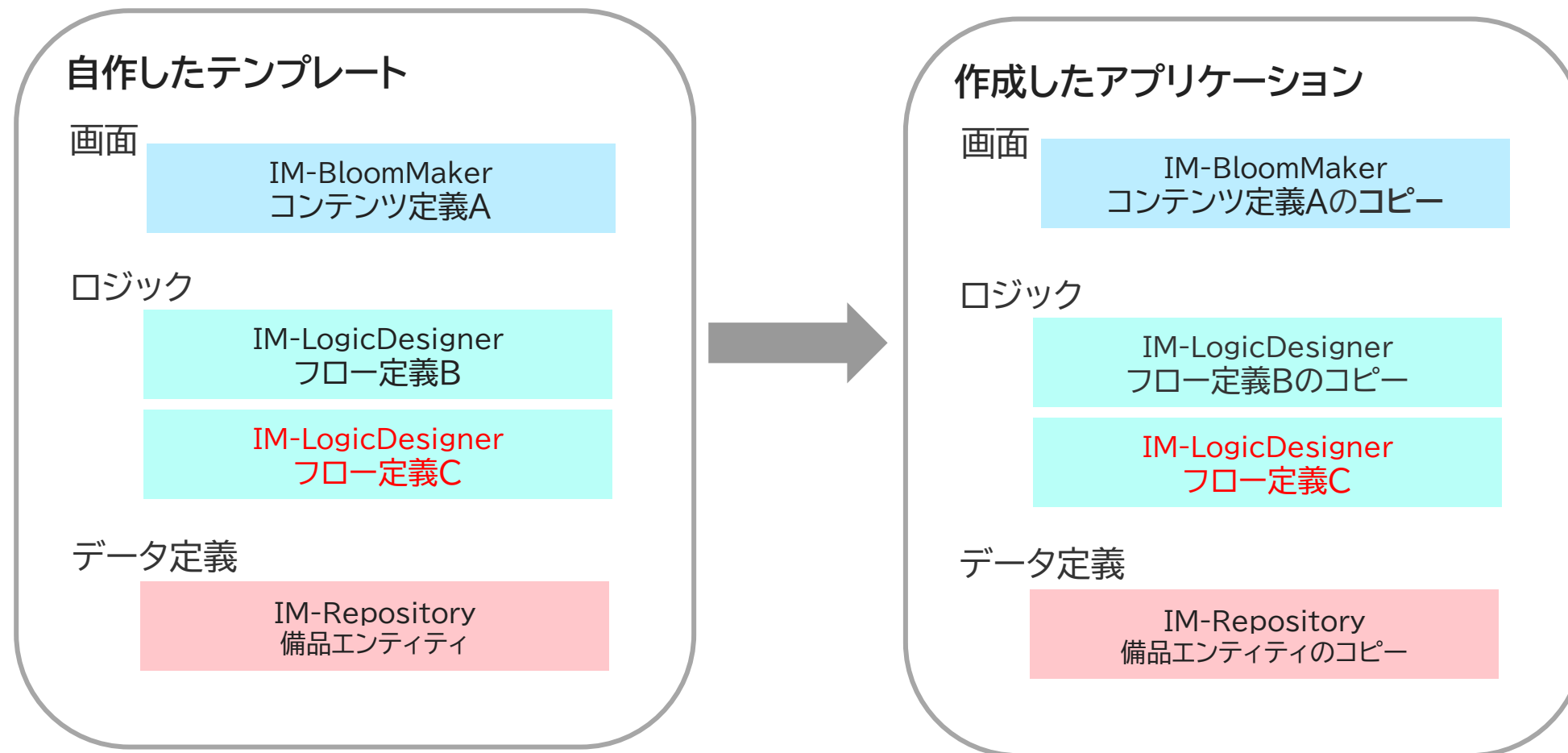
- テンプレートに含めるリソース群を表示します。
- テンプレートに含まれている定義に紐づくリソースを表示します。

各種定義IDに関する設定

- テンプレートから作成したアプリのIDの入力パターンを決めます。

アプリケーションのテンプレート化機能

テンプレートから作成したアプリケーションの資材は、別IDでコピーされます。
共通資材として、複数アプリケーションで同じ資材を利用することも可能です。



「エンティティ」作成の簡易モードを提供します

エンティティを利用するテンプレートで、簡易にエンティティを作成可能にするモードを提供します。

IM-Repository 資材の設定

簡易に設定する

テーブル情報を入力することで、エンティティや辞書項目を自動で作成します。エンティティや辞書項目を意識せずに扱うデータの定義を作成できます。

詳細に設定する

辞書項目を有効に利用してエンティティを作成します。辞書項目の新規作成や、既存の辞書項目の利用ができます。

エンティティ名* ?

資材管理マスタ

エンティティに紐づくテーブル名* ?

ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

material_management_table

エンティティ情報* ?

+ 追加

物理名	表示名	データ型	表示形式	主キー	必須	検索条件
material_cd	資材コード	文字列	テキストボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
material_name	資材名	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
use_department_cd	組織コード	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

入力項目が少なくなりました。

辞書項目新規作成

情報はアプリケーション作成のビルド実行時に登録されます。

基本設定

登録先辞書項目カテゴリ*

この項目を登録する辞書項目カテゴリを選択します。

辞書項目ID*

辞書項目名*

ここで入力した情報は「Database設定」の「論理名」に自動設定されます。

データ型*

ここで入力した情報は各データ設定の「データ型」と、「Database設定」の「最大桁数」「小数桁数」に自動設定されます。

変数名*

ここで入力した情報は各データ設定の「変数名」に自動設定されます。

データ

項目を手入力する

Database設定 データ型

キャンセル 設定

従来の詳細に情報設定可能な入力モードも利用可能です。

Accel Studio

Accel Studioアプリケーションで利用可能な採番定義機能を提供します

Accel Studioアプリケーションで利用できる自動採番機能を提供します。

アプリケーション管理画面から採番定義を作成します

LDタスク(採番取得タスク、採番リセットタスク)から採番定義を利用可能です。



Accel Studioアプリケーションで利用可能な採番定義機能を提供します

採番定義は、「文字列」、「区切り文字」、「日付形式」、「年度」を組み合わせて作成できます。

採番形式設定

IM_20231005_00001

+ 文字列 + 区切り文字 + 日付形式 + 年度

文字列 IM

区切り文字 - _ / .

日付形式 YYYYMMDD
プレビュー : 20231005

区切り文字 - _ / .

連番
開始番号* 1
表示桁数* 5
増分値* 1

新規作成

採番形式設定

20231005_00001

+ 文字列 + 区切り文字 + 日付形式 + 年度

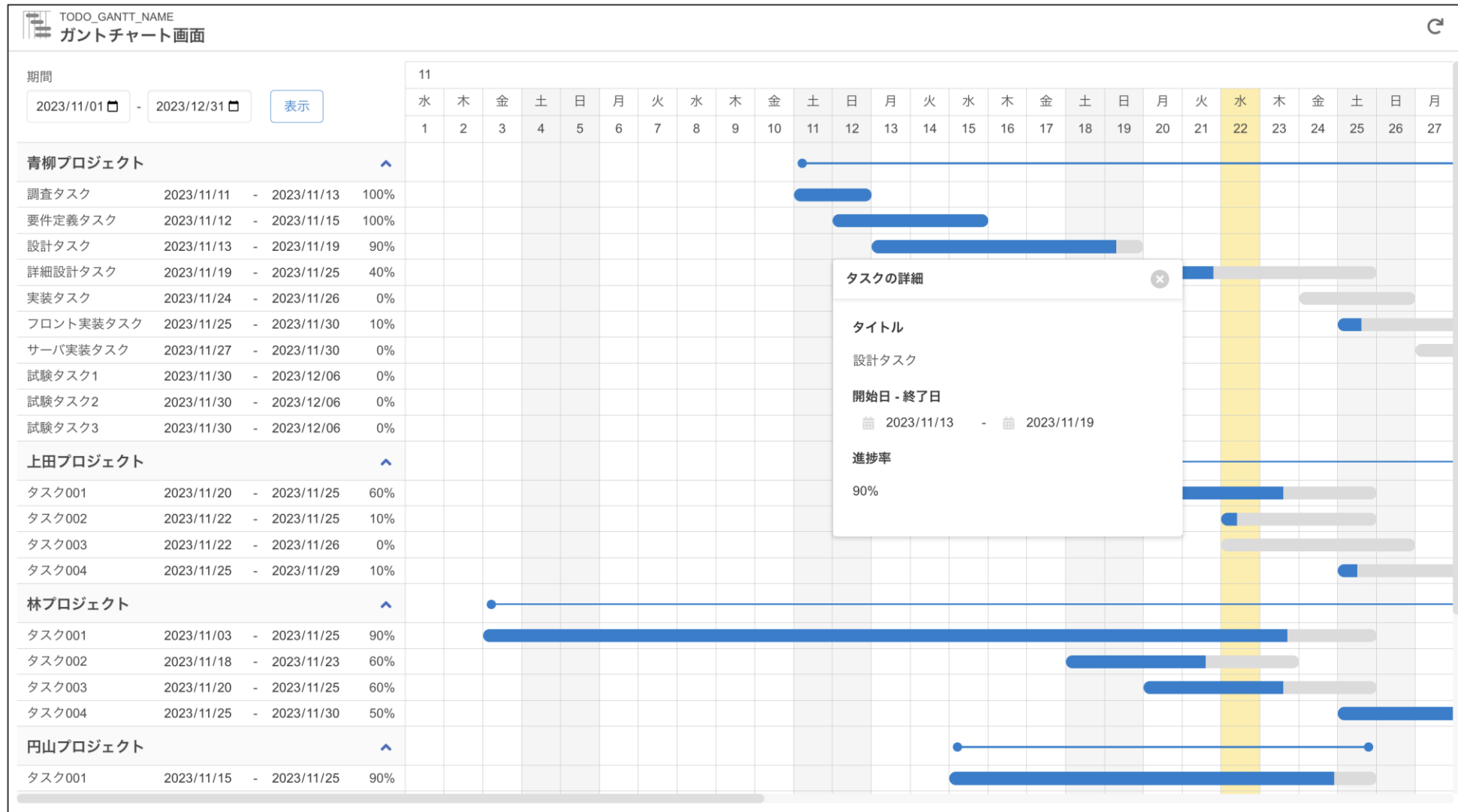
日付形式 YYYYMMDD
プレビュー : 20231005

区切り文字 - _ / .

連番
開始番号* 1
表示桁数* 5
増分値* 1

採番定義に利用する値は自由に順番を入れ替えたり、数を増やしたり減らしたりすることができます。

ガントチャートテンプレートを提供します



マスタメンテナンステンプレート および在庫管理テンプレートの一覧を改善します

一覧画面を改善し、大量データをフェッチ取得するように改善しました。
また、在庫管理テンプレートにおいて、UIデザインの刷新を行いました。

改善前

商品管理コード	商品名	商品名 (カナ)	バーコード	単価	現在の在庫	在庫 (単)
ballpoint_red	ボールペン (赤)	ボールペンアカ	5a4c8a4fc09e	100	14	28.0 %
chopsticks	割りばし	ワリバシ	45704fb7ab86 470da01fa03b	400	10	10.0 %
clear_file_a3	クリアファイル (A3)	クリアファイルA3	b04beacafa57	200	19	19.0 %
clear_file_a4	クリアファイル (A4)	クリアファイルA4	1b2d30eb0db5	200	38	38.0 %
collor_holder_a4	カラーホルダー (A4)	カラーホルダーA4	49d76ec201b8	200	16	53.3 %
copy_paper_a3	コピー用紙 (A3)	コピーヨウシA3	0995028924f3	4000	13	65.0 %
copy_paper_a4	コピー用紙 (A4)	コピーヨウシA4	6a45c42547f6	3500	20	66.6 %
copy_paper_a5	コピー用紙 (A5)	コピーヨウシA5	6185c35fd5b	3000	18	60.0 %
copy_paper_b4	コピー用紙 (B4)	コピーヨウシB4	fdab6d71e18a2	3200	12	60.0 %
copy_paper_b5	コピー用紙 (B5)	コピーヨウシB5	aa7ade53ee42	3500	18	90.0 %
cup_black	カップ (黒)	コップクロ	d132b6defd56 3a46c932b56a	15	10	10.0 %
cup_colorful	カップ (カラフル)	コップカラフル	e07153e60352	20	10	10.0 %
fusen_big	付箋 (大)	フセンダイ	e99a5b0cc5a8	700	10	50.0 %

改善後

商品名	商品管理コード	単価	在庫数	在庫率
ボールペン (赤)	ballpoint_red		100	14 28.0 %
割りばし	chopsticks		400	10 10.0 %
クリアファイル (A3)	clear_file_a3		200	19 19.0 %
クリアファイル (A4)	clear_file_a4		200	38 38.0 %
カラーホルダー (A4)	collor_holder_a4		200	16 53.3 %
コピー用紙 (A3)	copy_paper_a3		4000	13 65.0 %
コピー用紙 (A4)	copy_paper_a4		3500	20 66.6 %
コピー用紙 (B4)	copy_paper_b4		3200	12 60.0 %
コピー用紙 (A5)	copy_paper_a5		3000	18 60.0 %
コピー用紙 (B5)	copy_paper_b5		3500	18 90.0 %
カップ (黒)	cup_black		15	10 10.0 %
カップ (カラフル)	cup_colorful		20	10 10.0 %

※画面は開発中のものです。

その他

その他、以下の要件を2023 Autumnで対応しました。

- シンプルなワークフローテンプレートで、明細テーブルを利用できるようにします。
 - マスタメンテナンステンプレートと同様に、明細テーブルを利用できるようになります。
- 認可設定画面のパフォーマンス改善
 - Accel Studioの認可設定画面のパフォーマンスを改善しました。

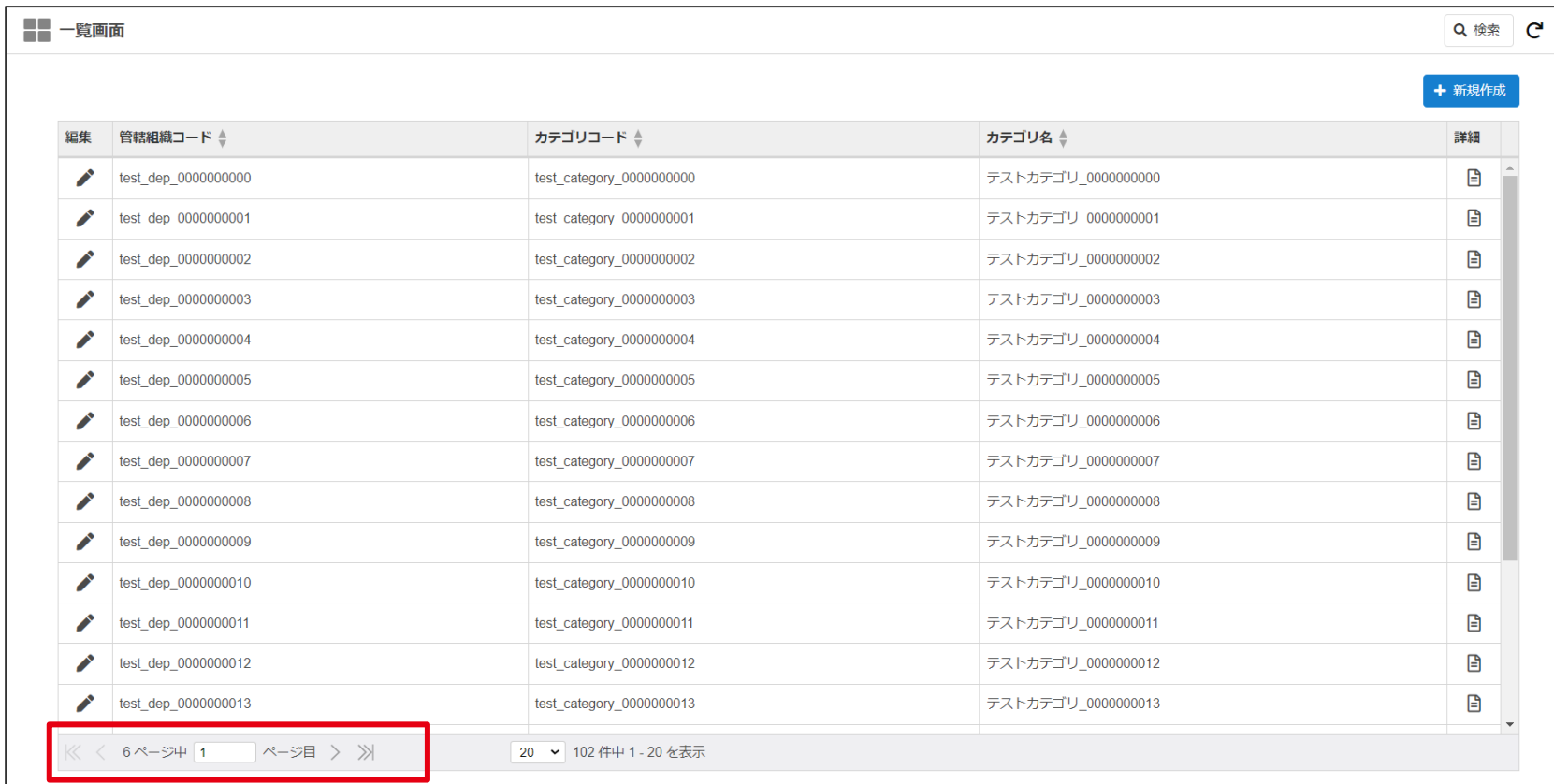
IM-BloomMaker

- リッチテーブルエレメントで大量データを扱えるように改善します
- アップロードしたファイルの追加、削除を行いやすくします
- 設計書出力のパフォーマンスを改善します

リッチテーブルエレメントで大量データを扱えるように改善します

リッチテーブルのソート、ページ遷移時にアクションを呼び出せるようにしました。

表示する件数分のデータのみ取得する処理を実装し、上記のアクションに設定することで、大量データの場合でもリッチテーブルをご利用いただけるようになりました。



編集	管轄組織コード	カテゴリコード	カテゴリ名	詳細
	test_dep_0000000000	test_category_0000000000	テストカテゴリ_0000000000	
	test_dep_0000000001	test_category_0000000001	テストカテゴリ_0000000001	
	test_dep_0000000002	test_category_0000000002	テストカテゴリ_0000000002	
	test_dep_0000000003	test_category_0000000003	テストカテゴリ_0000000003	
	test_dep_0000000004	test_category_0000000004	テストカテゴリ_0000000004	
	test_dep_0000000005	test_category_0000000005	テストカテゴリ_0000000005	
	test_dep_0000000006	test_category_0000000006	テストカテゴリ_0000000006	
	test_dep_0000000007	test_category_0000000007	テストカテゴリ_0000000007	
	test_dep_0000000008	test_category_0000000008	テストカテゴリ_0000000008	
	test_dep_0000000009	test_category_0000000009	テストカテゴリ_0000000009	
	test_dep_0000000010	test_category_0000000010	テストカテゴリ_0000000010	
	test_dep_0000000011	test_category_0000000011	テストカテゴリ_0000000011	
	test_dep_0000000012	test_category_0000000012	テストカテゴリ_0000000012	
	test_dep_0000000013	test_category_0000000013	テストカテゴリ_0000000013	

6 ページ中 1 ページ目 >> | 20 | 102 件中 1 - 20 を表示

リッチテーブルエレメントで大量データを扱えるように改善します

リッチテーブルのソート、ページ遷移時にアクションを呼び出せるようにしました。

表示する件数分のデータのみ取得する処理を実装し、上記のアクションに設定することで、大量データの場合でもリッチテーブルをご利用いただけるようになりました。

The screenshot shows a rich table with columns for editing, management code, category code, category name, and details. A configuration dialog box is overlaid on the table, showing the 'selected?' field and the 'interactiveNavigationEvent' field set to 'Catch interactiveNavigationEvent'. The dialog box contains the following text:

ページを切り替えた際に
実装したデータ取得処理を呼び出す

リッチテーブルの部品を操作した際に実行するアクションを指定します。
アクションを実行するタイミングは以下の通りです。

- ・ソートを実行/解除した時
- ・ページを切り替えた時
- ・1ページあたりの表示件数を変更した時
- ・簡易検索を実行した時

The dialog box also shows a search field and a close button. The table below has a red box around the pagination controls, which are currently showing '6ページ中 1' and 'ページ目'.

リッチテーブルエレメントで大量データを扱えるように改善します

リッチテーブルのソート、ページ遷移時にアクションを呼び出せるようにしました。

表示する件数分のデータのみ取得する処理を実装し、上記のアクションに設定することで、大量データの場合でもリッチテーブルをご利用いただけるようになりました。

ページを切り替えた際に
実装したデータ取得処理を呼び出す

selected ?

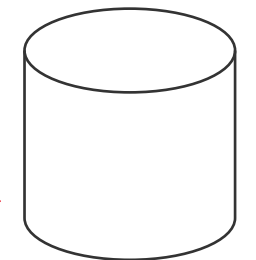
interactiveNavigationEvent Catch interactiveNavigationEvent

リッチテーブルの部品を操作した際に実行するアクションを指定します。
アクションを実行するタイミングは以下の通りです。

- ・ソートを実行/解除した時
- ・ページを切り替えた時
- ・1ページあたりの表示件数を変更した時
- ・簡易検索を実行した時

6 ページ中 1 ページ目

テーブルに表示する件数分のデータを返却する



現在のページ数、
表示件数、検索条件
などの情報を送信

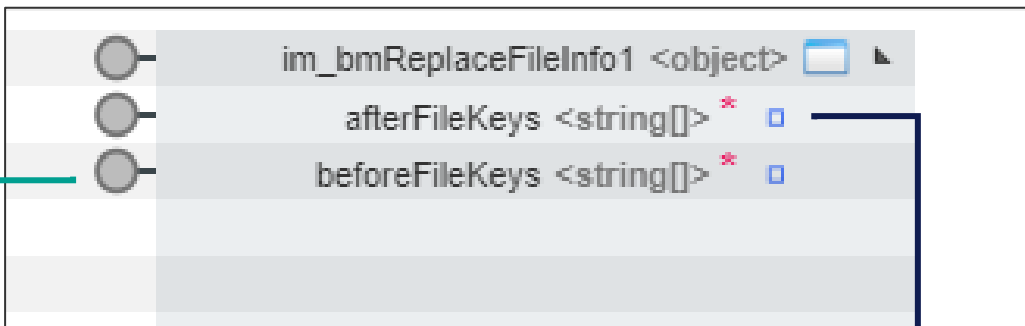
ファイル情報の登録・取得タスクで、 ファイルに紐づける独自の値を保持する機能を追加します

ファイル情報の登録・取得タスクでは、アプリケーションの情報を保持するapplicationId、ファイル情報に独自の情報を付与するためのbusinessKeyフィールドが用意されていましたが、Map 型の metadata フィールドを追加して、複数の値を保持できるようにしました。

The image shows a user interface for registering file information. On the left, there is a form with three items (項目 1, 項目 2, 項目 3). Item 1 has a text input field labeled 'アプリケーションID' (Application ID). Item 2 has a text input field labeled 'ユーザデータID' (User Data ID). Item 3 has two file selection buttons, each labeled '添付ファイルA' (Attached File A) and '添付ファイルB' (Attached File B). At the bottom of the form are buttons for '申請' (Apply) and '一時保存' (Save Temporarily). On the right, a JSON object is displayed: 'im_bmRegisterFileInfo1 <object>'. It contains fields: 'applicationId <string>', 'businessKey <string>', 'key <string[]> *', and 'metadata <map>'. The 'metadata' field is highlighted with a red box. Red lines connect the 'アプリケーションID' and 'ユーザデータID' fields to their respective values in the JSON object. Red lines also connect the '添付ファイルA' and '添付ファイルB' buttons to the 'metadata' field in the JSON object.

アップロードしたファイルの追加、削除を行いやすくします

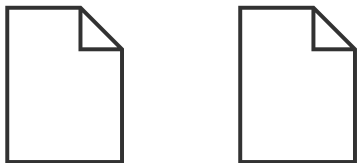
IM-LogicDesigner にタスク「ファイル情報の一括置換」を追加しました。



一括置換

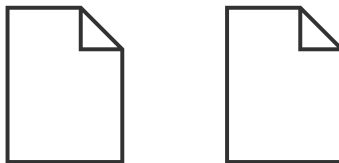
入力されたファイルキーの情報を比較して、登録・削除を一括で行います。

変更前のファイルキー情報
(beforeFileKeys)



ファイルA ファイルB

変更後のファイルキー情報
(afterFileKeys)



ファイルA ファイルC

変更なし



ファイルA

追加



ファイルC

削除



ファイルB

エレメントセットの配置時に競合が起こった場合、複製する選択肢を追加します

コピー元とコピー先のエレメントセットを1つのコンテンツに配置して競合が発生した場合に「複製する」を選択肢を追加しました。

影響範囲

● 影響するアクション (全体: 3件、競合: 3件)

⚠ 3個中、3個のアクションが競合しています。アクションに対する処理を選択してください。

タイトル	アクション
✓ 上書きしない 上書きする	アクションA
複製する	アクションB
上書きしない	アクションC

「複製する」を選んだ場合、エレメントセットをコピーした段階で ID を振り直します。

決定 取り消し

入力系のエレメントにタブインデックスを指定できるようにします

テキスト入力やラジオボタン、ハイパーリンク等の入力系のエレメントにタブインデックスが指定できるようになりました。

フォーム部品 (Bulma) > テキスト入力
テキスト入力要素

⊖ エレメント固有

disabled ? 固定値 変数値

readonly ? 固定値 変数値

static ? 固定値 変数値

autofocus ? 固定値 変数値

size ?

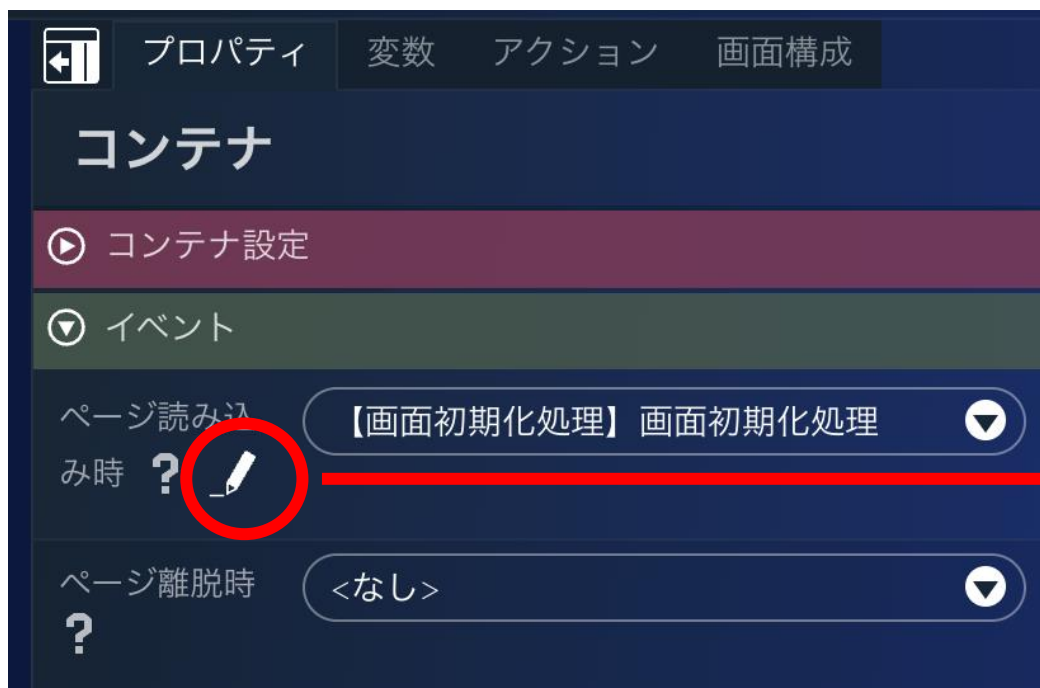
rounded ?

tabIndex ? 固定値 変数値

フォーカスを移動させる順番を整数で設定できます

イベントに設定したアクションをすぐ確認できるようにします

エレメントに指定したアクションの横にアイコンを追加し、このアイコンから指定したアクションを開くように改善しました。



スプレッドシートエレメントで PDF を出力できるように改善します

IM-Spreadsheet の 8.0.3 以降で利用できるプラグインを利用できるように改善します。

sheets.print (印刷機能)

sheets.pdf (PDF 出力機能)

sheets.barcode (バーコード機能)

設計書出力のパフォーマンスを改善します

設計書出力のパフォーマンスを改善しました。

弊社の検証環境で測定した出力例を以下に提示します。

※本検証内容のパフォーマンスは動作環境によって異なる場合があります。

設計書出力パフォーマンス比較(バージョン別)

コンテンツ	2022 Winter	2023 Spring	2023 Autumn
label 一つ	748 ミリ秒	690 ミリ秒	171 ミリ秒
BloomMaker版 IM-共通マスタ ユーザー一覧	19.9 分	6.4 分	0.086 分 (5.15 秒)

IM-Workflow

- アクション処理のパラメータを追加しました

アクション処理のパラメータを追加します

アクション処理内で、処理モジュール(標準処理画面)上で
入力したデータを取得できるようにします。

- DCNodeConfigModels<object[]>	動的・確認ノード設定情報オブジェクト
- nodeId<string>	ノードID
- processTargetConfigs<object[]>	処理対象設定
-- extensionPointId<string>	拡張ポイントID
-- parameter<string>	パラメータ
-- pluginId<string>	プラグインID
- HVNodeConfigModels<object[]>	横配置・縦配置ノード設定情報
- nodeId<string>	ノードID
- matterNodeExpansions<object[]>	案件ノード展開情報
-- nodeName<string>	ノード名
-- pluginModels<object[]>	プラグイン情報
---- extensionPointId<string>	拡張ポイントID
---- pluginId<string>	プラグインID
---- parameter<string>	パラメータ
- branchSelectModels<object[]>	分岐先選択情報
- branchStartNodeId<string>	分岐開始ノードID
- forwardNodeIds<string[]>	分岐先ノードID

IM-Spreadsheet

- SpreadJS のバージョンを 16.1.4 へ更新します。

SpreadJS のバージョンを 16.1.4 へ更新します。

IM-Spreadsheet 8.0.13 で同梱する SpreadJS のバージョンを 12.1.6 から 16.1.4 に更新しました。

SpreadJS 16.1.4 で利用可能な各機能が使えるようになりました。

リボンコンテナ機能を利用したことで従来のリボンからUIが刷新されました。

新ファイルフォーマット(SJS形式)に対応したことで、大幅に少ないサイズでデータを保存したり、高速にExcelのインポート・エクスポートを行うことができるようになりました。

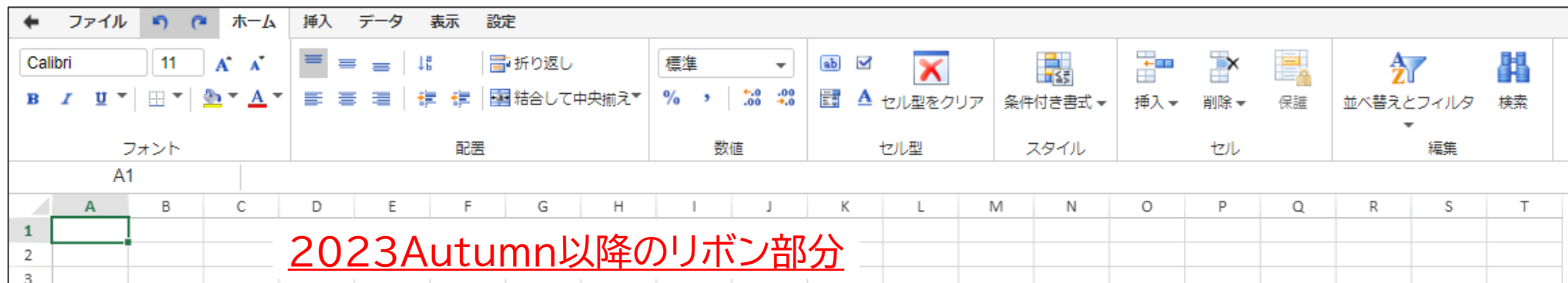
(※) 2023Autumn以前の IM-Spreadsheet と互換性があるため、アップデートを行っても、過去のスプレッドシートを新バージョンでご利用いただくことができます。

IM-Spreadsheet 8.0.12 以前のライセンスを購入されているお客様は SpreadJS V16J のライセンスへの更新が必要です。
また、過去バージョンのライセンスとの共存は不可となります。

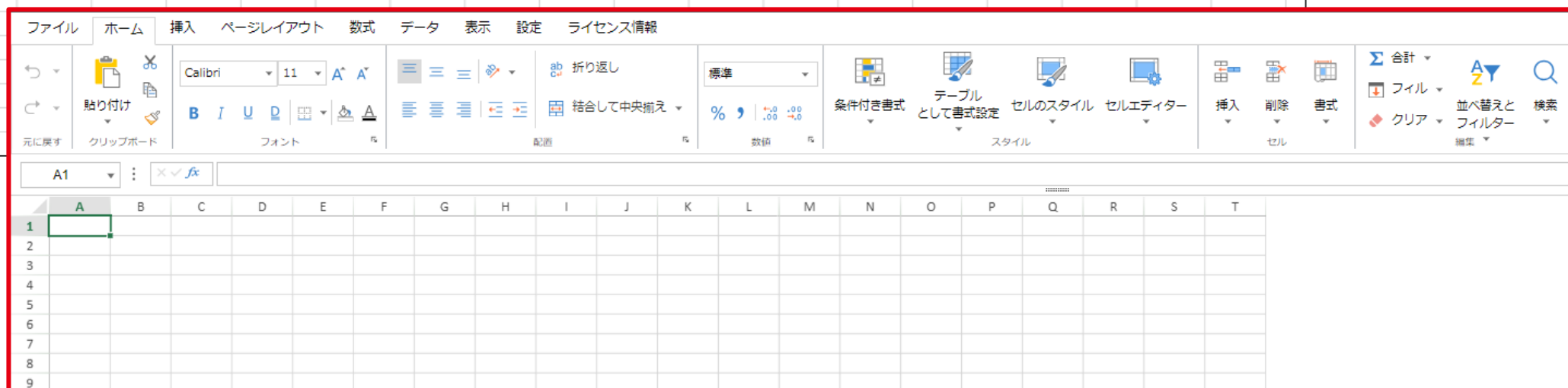
SpreadJS のバージョンを 16.1.4 へ更新します。

バージョン更新に伴い、リボン部分のUIが刷新しました。

2023Spring以前のリボン部分



2023Autumn以降のリボン部分



IM-Spreadsheet

サービス連携

- Box連携用のAPIをリリースします
- WinActor連携モジュールを大規模利用に対応します

Box連携用のAPIをリリースします

Box連携モジュールをJavaEE開発モデル、スクリプト開発モデルで利用可能にします。

パブリックストレージやSharePointなど、ストレージを切り替えるだけで同じファイル操作をできるようになります。

また、外部ストレージサービスの違いを意識せずにロジックを作成できるようになります。

intra-mart®

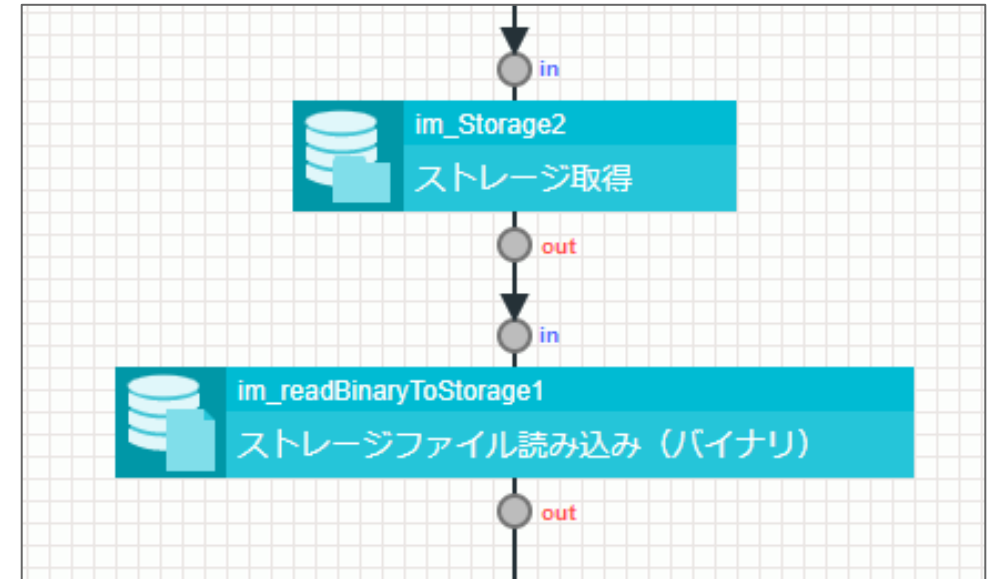
ストレージ互換
API

New

```
// Box側のUserIdを取得
var boxUserId =
  UserMapper.getBoxUserIdFromIMUserCd('aoyagi');

// Storage互換APIを提供
var boxStorage = new BoxStorage('/foo/bar/baz.pdf', boxUserId);
// ファイルの保存
boxStorage.save(request.uploadedFile);

// その他の操作のAPIの提供
var boxClient = new BoxClient().asUser(boxUserId);
// メタデータの追加登録
boxClient.createMetadata('/hoge/fuga.txt', {
  flowId: request.flowId,
  title: request.title
});
// ファイルのロック
boxClient.lockFile('/hoge/fuga.txt');
```



サービス連携

WinActor連携モジュールを大規模利用に対応します

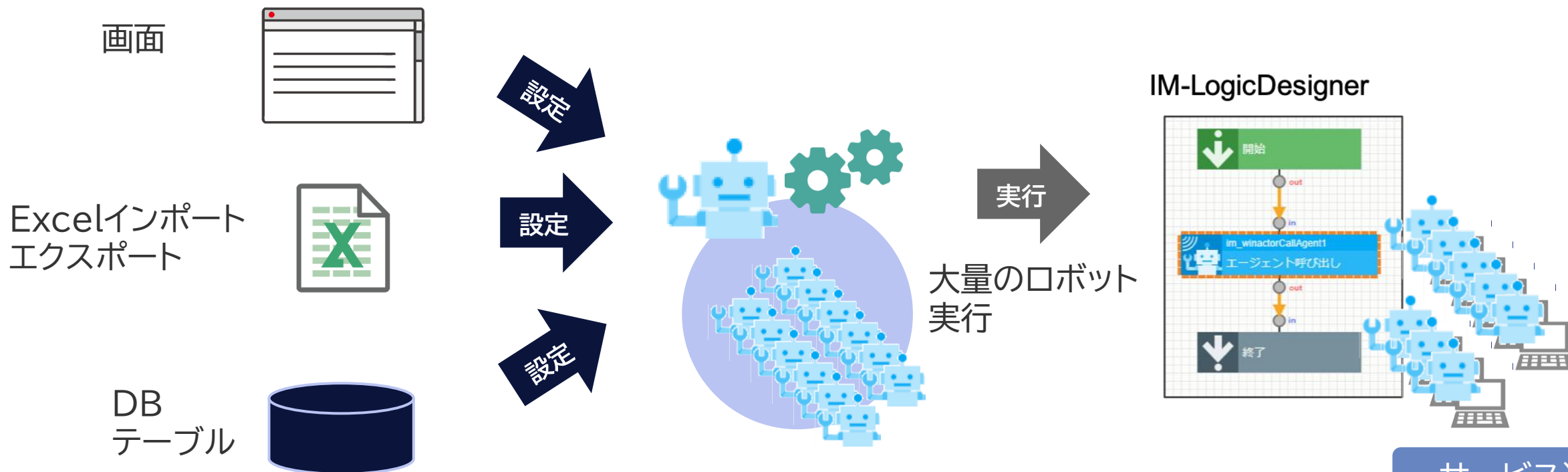
数百台規模でのWinActor連携が管理できるよう、連携設定を強化します。

大量エージェント管理に適用した設定画面の追加

設定情報のDB化(テーブル化)により、IM-LogicDesignerやプログラムでの管理に対応

Excelエクスポート／インポートに対応

ステータス管理や管理用情報を追加



WinActor連携モジュールを大規模利用に対応します

The screenshot shows the 'WinActor連携設定 (テナントDB管理)' interface. At the top right, there are buttons for 'エクスポート' (Export), 'インポート' (Import), and '無効化' (Deactivate), with a '保存' (Save) button below them. A search bar is located below the 'エージェント' tab. The main table lists agents from agent1 to agent10, with columns for ID, Name, Endpoint, Remarks, Status, Connection Confirmation, and Delete. Callouts highlight the 'エクスポート・インポート機能' (Export/Import Function), 'フィルタリング機能' (Filtering Function), '備考(メモ)機能' (Remarks/Memo Function), and 'ステータス管理' (Status Management).

エージェントID	エージェント名	エンドポイント	備考	状態	接続確認	削除
agent1	agent1	http://192.168.110.77:8088/winactor/agent/service		ON	品	⊗
agent2	agent2	http://192.168.110.77:8088/winactor/agent/service		ON	品	⊗
agent3	agent3	http://192.168.110.88:8089/winactor/agent/service	2023/10時点で未使用	OFF	品	⊗
agent4	agent4	http://192.168.110.77:8088/winactor/agent/service		ON	品	⊗
agent5	agent5	http://192.168.110.77:8088/winactor/agent/service		ON	品	⊗
agent6	agent6	http://192.168.110.77:8088/winactor/agent/service		ON	品	⊗
agent7	agent7	http://192.168.110.77:8088/winactor/agent/service		ON	品	⊗
agent8	agent8	http://192.168.110.77:8088/winactor/agent/service		ON	品	⊗
agent9	agent9	http://192.168.110.77:8088/winactor/agent/service		ON	品	⊗
agent10	agent10	http://192.168.110.99:8089/winactor/agent/service	2023/10時点で未使用	OFF	品	⊗

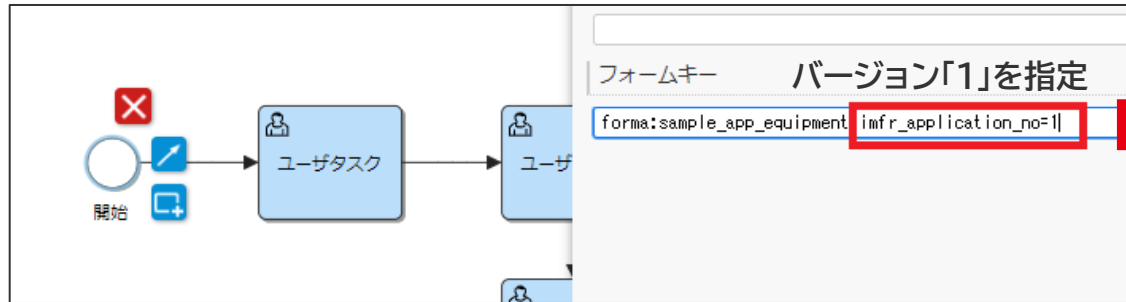
IM-BPM

- IM-FormaDesignerで作成したフォーム画面呼び出し時にアプリケーションのバージョンを指定できるようにします
- コールアクティビティにて呼び出し対象のプロセス定義のバージョンを指定できるように改善します
- 期間計算で営業日・勤務時間を考慮するオプションを提供します
- 一覧画面の日時項目に対して時刻を指定して検索できるように改善します
- プロセス参加者向けのプロセス一覧画面を提供します

IM-FormaDesignerで作成したフォーム画面呼び出し時に アプリケーションのバージョンを指定できるようにします

IM-FormaDesignerで作成したフォーム画面の呼び出しでバージョンを指定可能にします。

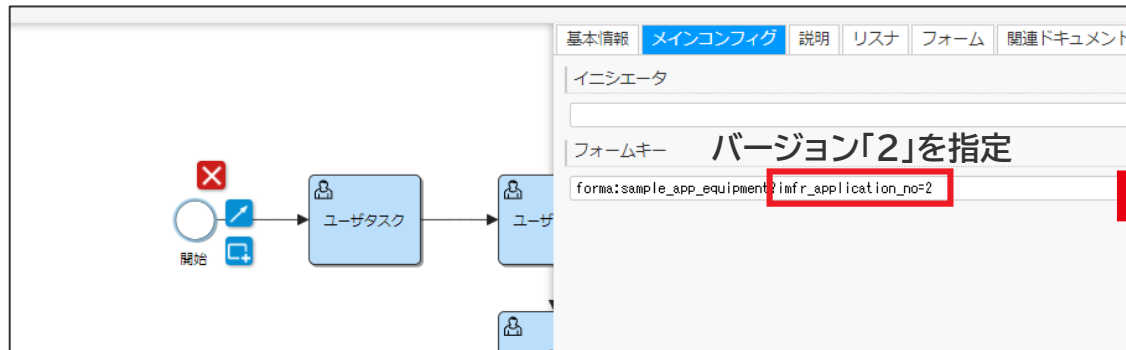
アプリケーションの状態に関係なく、呼び出す画面を固定できるため、業務プロセス改善時の調査・検討の工数を削減できます。



Ver:1

備品登録
登録・更新する備品の情報を入力してください。*の項目は入力必須です。

備品名 *
ロケール *
メーカー
購入単位 *
最低数量 *



Ver:2

備品登録
登録・更新する備品の情報を入力してください。*の項目は入力必須です。

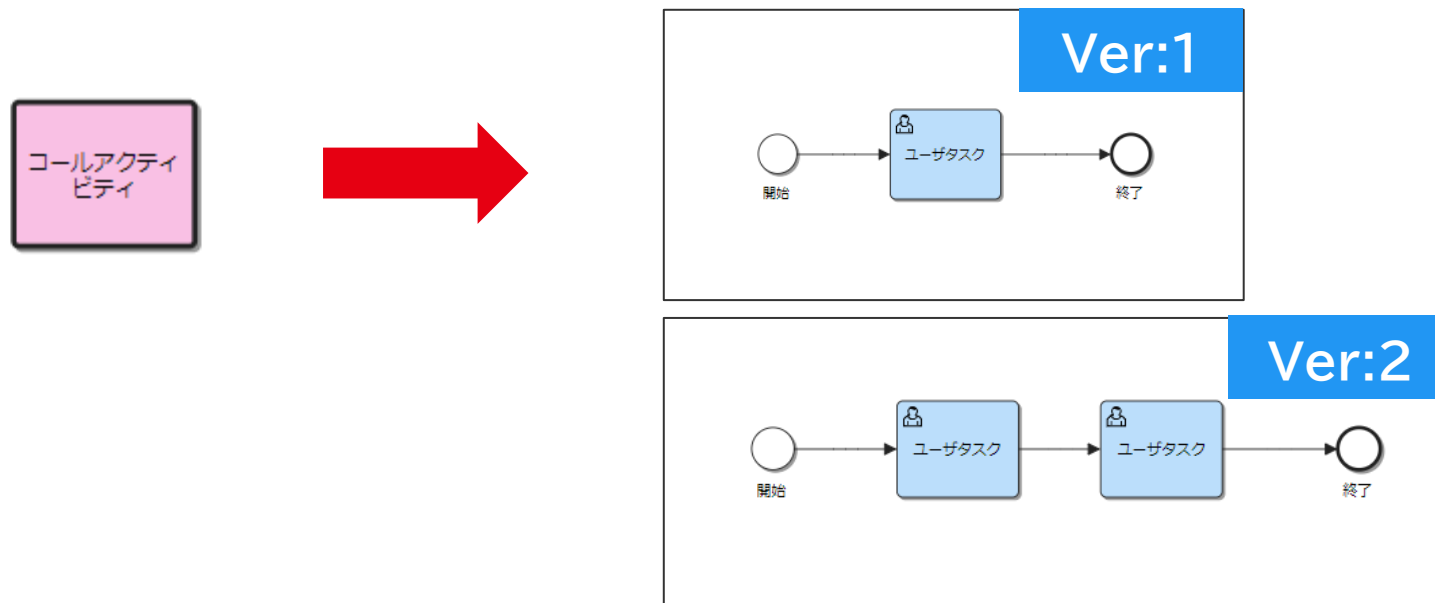
備品名 *
ロケール *
メーカー
購入単位 *
最低数量 *
色
サイズ
価格 *

テキスト

コールアクティビティにて呼び出し対象の プロセス定義のバージョンを指定できるように改善します

コールアクティビティによるプロセスの呼び出しを行う際に、
プロセス定義のバージョンを指定可能にします。

他プロセスからの呼び出し有無を気にせず、業務プロセスの改善を行うことができます。



詳細	プロセス定義名	バージョン	備考	開始日時	実行中プロセ	障害中プロセ	完了プロセス	アクティブ
	プロセス_Callee	2		2023/05/29 10:16:24	0	0	0	●
	プロセス_Callee	1		2023/05/29 10:15:07	0	0	0	●

期間計算で営業日・勤務時間を考慮するオプションを提供します

IM-BPMプロセスにおける周期、期間などの計算時に、タイムゾーンの指定やカレンダーとの連携、カスタムカレンダーロジックが設定可能になります。

これにより、営業日を意識した期間計算を行えるようになり、より業務実態に即したプロセスを設計できます。

基本情報 | **メインコンフィグ** | 説明 | リスナ | 表現

時間指定の種類 ?
 日付 周期 期間

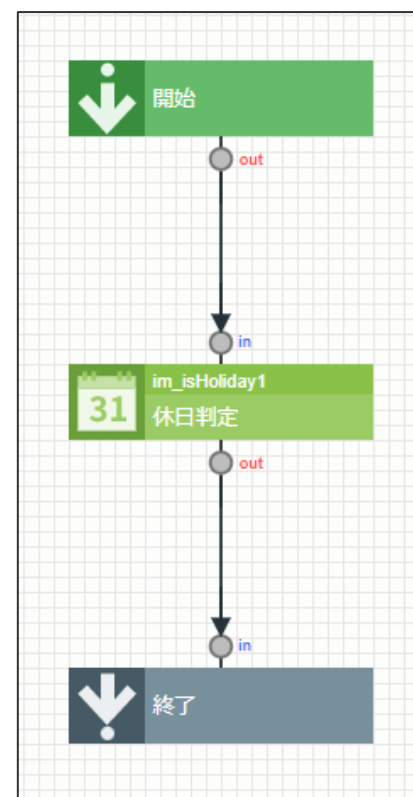
期間* ?
PT10M \$()

日付計算方法 ?
 システム日付で計算 営業日付で計算

タイムゾーン* ?
(GMT+09:00) 日本 / 東京

カレンダーID* ?
日本のカレンダー

タイム開始イベント
タイムキャッチイベント
タイム境界イベント



一覧画面の日時項目に対して 時刻を指定して検索できるように改善します

標準の一覧画面の日付項目にて時刻を含めた条件を設定できるように改善します。
優先度の高いタスクなどの検索をスムーズに行うことができます。

The screenshot shows a web application interface for task management. At the top, there is a navigation bar with tabs: 'タスク一覧' (Task List), 'プロセス開始一覧' (Process Start List), 'グループタスク一覧' (Group Task List), '個人タスク一覧' (Personal Task List), '処理済一覧' (Completed List), '振り分け' (Assignment), and '一括処理' (Batch Processing). Below this, the main content area is titled 'グループタスク' (Group Task). Underneath, there is a '検索条件' (Search Conditions) section with several input fields: 'プロセス定義名' (Process Definition Name), '業務キー' (Business Key), 'カテゴリ' (Category), 'タスク名' (Task Name), '優先度' (Priority), '作成日時' (Created Date/Time), and '期限日時' (Due Date/Time). The '作成日時' and '期限日時' fields are highlighted with red boxes. The '作成日時' field shows a date of '2023/06/01' and a time of '10:00'. The '期限日時' field shows a date of '2023/07/31' and a time of '--:--'. There are also '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons at the bottom right of the search section.

プロセス参加者向けのプロセス一覧画面を提供します

IM-BPMプロセス参加者向けのプロセス一覧画面を提供します。また、プロセス参加者をプロセス定義に設定できるようにします。

「IM-BPM管理者でなくても、自身に関連するプロセスの状況を閲覧したい」というBPM導入の根本的なニーズを開発せずに実現できます。

基本情報 **プロセス** データオブジェクト リスナ メッセージ&シグナル 関連ドキュメント

プロセス定義キー *

process_businesscalendar_20230925140527946

名前

プロセス_20230925140527946

処理対象ユーザ

処理対象グループ

参加者

参加者グループ

ユーザに業務キーの設定を許可しない

開始時にオプションタスクの追加を行う

アドホックタスクを使用する

説明

プロセス定義に関係者を指定可能

プロセス詳細

プロセス一覧 変数一覧 プロセス履歴 プロセス移行 プロセス一括移行 ドキュメント **関係者一覧** 参加者追加 参加者グループ追加 プロセス削除

プロセス定義ID	process_businesscalendar:1.8gy7uuqbk8tzoj	プロセス定義名	process_businesscalendar
プロセス定義キー	process_businesscalendar	バージョン	1
カテゴリ	http://www.intra-mart.jp/im_bpm	業務キー	
プロセスインスタンスID	8gy7uuu88g16oj		
開始日時~完了日時	2023/09/25 13:58:15 ~		

実行中のプロセスに関係者を追加可能

プロセス一覧

検索条件

検索条件

業務キー

プロセス定義名

プロセス定義ID

プロセス定義キー

開始日

ステータス

定義種別

実行中 待審中 完了 全て表示する

全て表示する ケース プロセス

一覧表示設定

適用 クリア

クエリ新規

クエリ一覧

- プライベートクエリ
- プロセスA
- プロセスB
- パブリッククエリ
- プロセスC

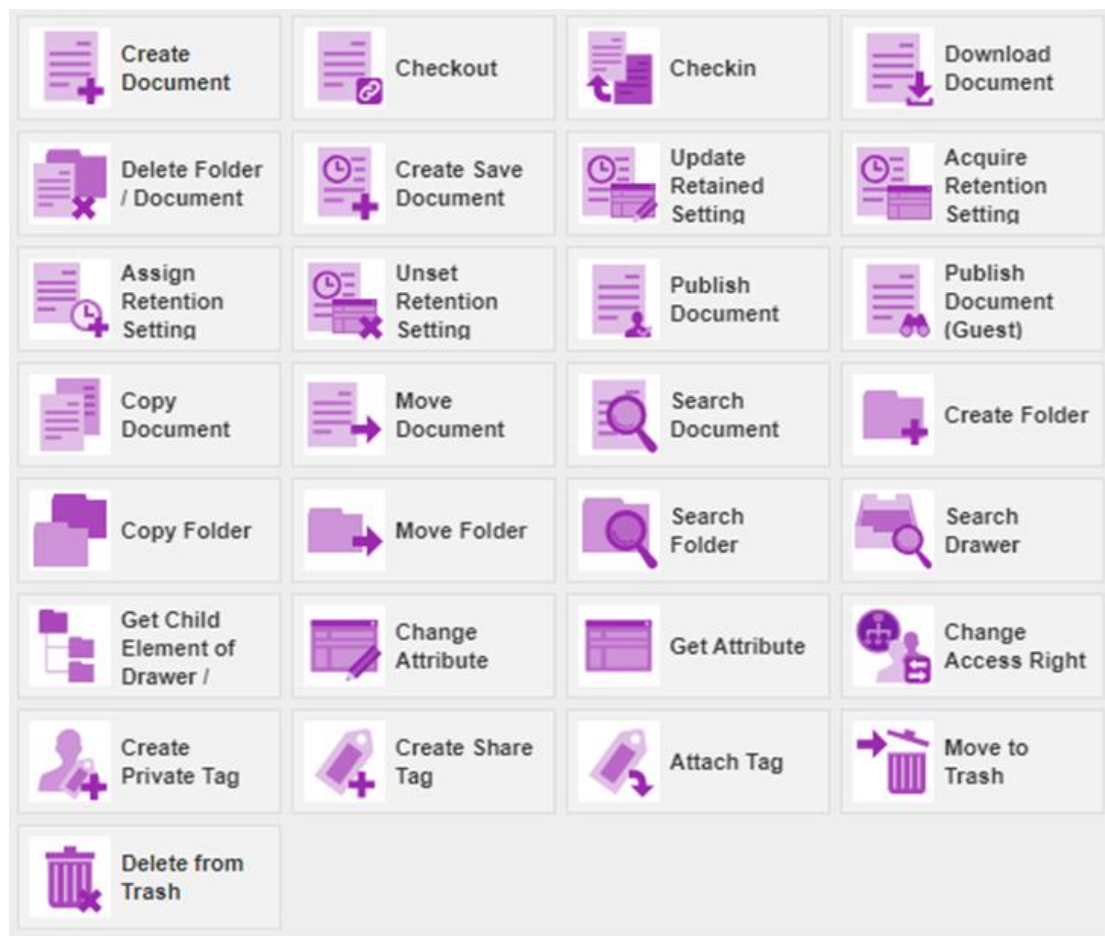
検索条件は保存、共有可能

intra-mart Accel Documents

- IM-LogicDesigner タスクを追加します

IM-LogicDesigner タスクを追加します

以下のintra-mart Accel Documents連携用のIM-LogicDesignerタスクを追加します。



- フォルダ検索
- フォルダコピー
- フォルダ移動
- ドロワ検索
- 保管設定付与
- 保管設定取得
- 保管文書更新
- 保管設定解除

仕様変更

- 環境の homeUrl から、先頭のスラッシュを削除します
- Android 版 IM-Notice の API レベルを更新します
- セイコータイムスタンプサービスのセキュリティ対策に伴うサービスURL変更について

環境の homeUrl から、先頭のスラッシュを削除します

環境変数の homeUrl から先頭のスラッシュを削除します。

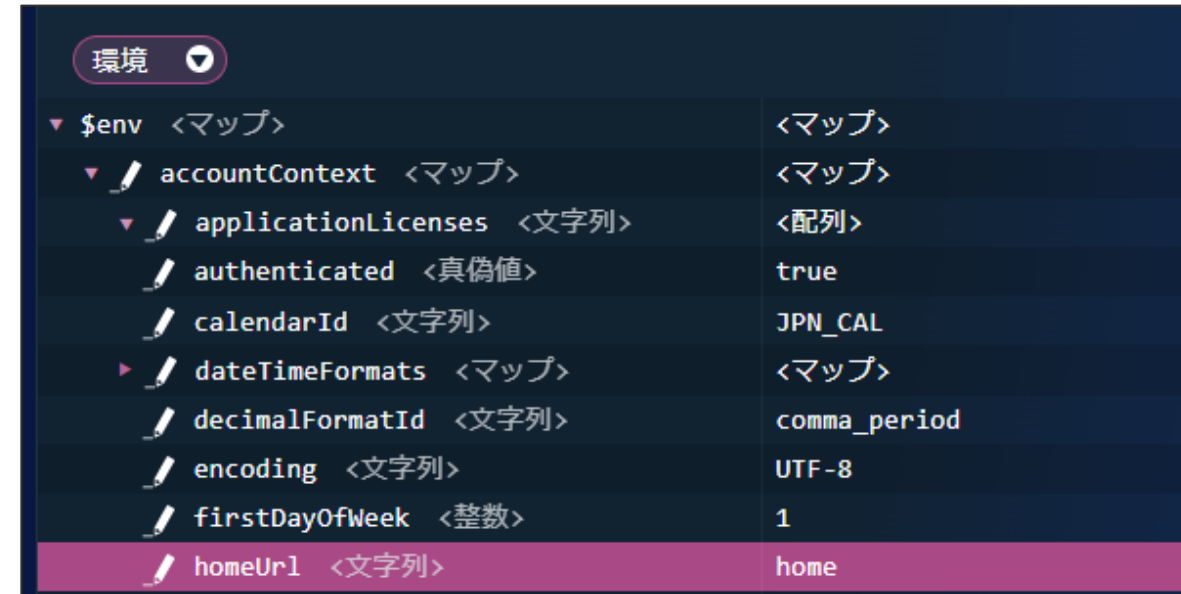
これにより、homeUrlを利用している箇所に影響が及ぶ可能性があります。

【影響発生例】

カスタムスクリプトで先頭の文字を削除している場合
\$variable.toHome =
\$env.accountContext.homeUrl.slice(1);

=> home // 2023 Spring まで

=> ome // 2023 Autumn から



環境	
\$env	<マップ>
accountContext	<マップ>
applicationLicenses	<文字列>
authenticated	<真偽値>
calendarId	<文字列>
dateTimeFormats	<マップ>
decimalFormatId	<文字列>
encoding	<文字列>
firstDayOfWeek	<整数>
homeUrl	home

Android 版 IM-Notice の API レベルを更新します

Android 版 IM-Notice の API レベル を更新します。

2023 年 8 月 31 日以降、API レベル 30 以前の場合、アプリの対象 API レベルよりも新しい Android OS を搭載した端末の Google Play では検索できない仕様となりました。

今回の更新では targetSdkVersion (アプリが動作するAPIレベル) を 29 から 33 に更新しました。

セイコータイムスタンプサービスのセキュリティ対策に伴う サービスURL変更について

セイコータイムスタンプサービスのセキュリティ対策(TLS1.2対応)に伴いタイムスタンプサービスの接続先 URLが変更されます。

以下の製品をご利用いただいている場合、接続先のURLを、**「2023年11月12日(日)」**までに、ご変更いただく必要がございます。

【対象製品】IM-PDFTimeStamper

※ 接続先URLをご変更いただかないと、上記期日以降、本サービス連携が出来なくなります。

詳細につきましては、以下の通り、FAQサイトにてご案内をしております。

「セイコータイムスタンプサービスのセキュリティ対策に伴うサービスURL変更について」
<https://product.intra-mart.support/hc/ja/articles/20860416899353>

仕様変更(セイコータイムスタンプ)

- 当資料はアップデートの主要トピックスに限定した説明資料です。アップデートに関する情報は要件情報公開サイトをご参照下さい。
<https://issue.intra-mart.jp/>
- システム要件や制限事項につきましては各製品のリリースノートを必ずご確認ください。
<https://www.intra-mart.jp/document/library/>



ご質問等ございましたら、下記へお問い合わせください。

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
セールス&マーケティング本部
電話番号: 03-5549-2821
E-mail: contact@intra-mart.jp